

小學校
教員
受驗
案內
並
問題

3

400

特 30
950

凡 例

一 本書は小學校合同施行規則並細則に依り和歌山縣小學校教員檢定

に關する手續を明にし且最近の試験問題を蒐集して受験者の参考

に資せしめんとす故に規程に關しては原理を説明せず

且實際的事項に關し解説をなせり

一 本書は之を七章に分ち規程又は通牒等現に實施のものゝ彙類摘載

し尙之に注意事項を加へ受験者として便ならしむ

一 本書掲ぐる所の問題は最近のもの参考書は現行のものゝみと記載

輯録せり



小學校
教員
受驗案內
並
問題

目次

前編

第一章 總則

第二章 無試驗檢定

第三章 試驗檢定

第四章 出願手續

第五章 手數料

第六章 參考書

第七章 受驗人心得

後編

第一章 問題并解答

第二章 問題
第一節 小學校本科正教員

一 二 七 一五 一九 二〇 四五 四七 四八 四八

第二節 小學校本科准教員
第三節 尋常小學校本科正教員
第四節 尋常小學校本科准教員
第五節 小學校專科正教員

一〇六
一二六
一五一
一六八



前

編

第五節	尋常小學校專科正教員	一六八
第四節	尋常小學校本科正教員	一五一
第三節	尋常小學校本科正教員	一二六
第二節	小學校本科准教員	一〇六

一〇六
一二六
一五一
一六八

小學校教員受驗案内并問題



總則

小學校教員檢定は二種あり一を試驗檢定といひ一を無試驗檢定といふ試驗檢定は毎年少くとも一回之を行ひ無試驗檢定は隨時之を行ふ
試驗檢定は府縣に於て行ふものにして施行の時日、場所試驗を行ふべき教員の種類出願期日等は一ヶ前に於て公布式に定めたる縣報及市内發行の各新聞紙にて告示するものなれば出願者は其受験場所種類等を定め成規の願書を認め期限内に郡市役所を経由し知事に提出すべし其の無試驗檢定は出願期日及受驗種類等に制限なく出願者のある毎に之を行ふものとす

檢定試験の合格不合格は府縣知事の任命せる檢定委員會の評決に依りて決定し委員會長は其成績を知事に上申すべし而して知事は之を精査し適當と認むる者には免許狀を授與すべく某科目の成績佳良と認むる者には證明書を交付すべし然るに若し知事に於て委員會の上申を不適當と認むる場合は免許狀又は證明書を下付さるも妨げなきものとす

第二章 無試験検定

無試験検定は何人にも之を出願することを得れども検定委員会に於て検定の資格ありとして委員会に付議すべき者は小學校令施行規則第七條に依り左記各號の一に該當する者とす

- 一、師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀を有する者
- 二、他の府縣に於て授與したる小學校教員免許狀を有する者
- 三、文部省直轄學校に於て某科目に關し特に教員の職に適する教育を受けて卒業したる者

四、中學校又は明治三十二年文部省令第三十四號に依り文部大臣に於て中學校と同等以上と認めたる學校を卒業したる者

(注意) 和歌山縣に於ては私立耐久中學校縣立農林學校市立商業學校の卒業生を

す

五、高等女學校を卒業したる者

(注意) 高等女學校技藝專修科卒業生は本項に依り無試験検定を出願するも差支なし

六、其の他府縣知事に於て特に適任と認めたる者

前各號の一に該當する者に關しては検定委員会に於て小學校本科正教員は師範學校の學科目及其程度に其の他の教員は小學校令施行規則第九條乃至第一百十二條に照し學力之に準すべき者と認むるときは合格者とす然るに第四號即農學校商業學校卒業生にありては教育音樂法制經濟第五號卒業生に在りては教育に缺くる處あるを以て之等の卒業生にして無試験検定を出願せんとする者は前記の學科を公立學校等にて特に履修せる經歷なきときは合格するを得ざるものとす只農學校卒業生にして農業專科正教員商業學校卒業生にして商業專科正教員の無試験検定を出願する者は委員会に於て合格するを常例とす第六號府縣知事に於て特に適任と認めたる者の検定は尋常小學校准教員に對し尋常小學校正教員免許狀を尋常小學校本科正教員又は小學校准教員に對し小學校本科正教員の免許狀を授與するの類にして之等は少くも代用教員以上に於て現に教員の職に在る者たるへし而して此手續に關しては

- 第一 府縣知事に於て特に適任と認めたる者あるときは知事は之を檢定委員会に付議すべし
- 第二 檢定委員会は之等の學力を小學校令施行規則第八條乃至第一百十二條の規定に對照し委員會の評決を経て適任不適任を知事に上申すべきものとす
- 第三 知事は委員會に於て適任と認めたる准教員に關しては直接に正教員に關しては更に文部大臣の指揮を受け各本人に免許狀を授與すべし

此場合に於ては本人の出願を須ひず府縣知事に於て免許狀を授與するものなれば知事は本

人より檢定手数料を徴收することを得ざるものとす然るに又本人の出願に依り委員會に付議し會の評決を経て免許狀を授與する場合なしとせずと雖も斯る場合は偶に見る所にして常例とすへからず

府縣知事に於て特に適任と認むべき者の標準左の如しと雖も各府縣に於ては其標準に依り更に細則を内定せるものとすされどこは内規に属するを以て窺知するを得ず

特に適任と認むべき者の調査標準 (四十年四月) (普通學務局通牒)

先般小學校令及同施行規則改正の結果尋常小學校教員は勿論一般の教員に就ても自然學力の補習を要すべく候に付ては小學校令施行規則第七條第六號該當者の學力に關しても今後其程度を高め且一層精密の調査を要する儀と存候就ては同第八十八條に依り小學校正教員免許狀授與申請の場合は自今別記の調査標準に依り慎重調査を遂げられ其の成績援群なる者に限り御申出相成候様致度依命此段及通牒候也

追て本文に依り申請の場合は別紙書式の履歷書を添付し尙本人の成績に關しては實地觀察を遂げられたる上御申請相成度此段申添候也

調査標準

男子は年齢凡三十年以上女子は二十五年以上にして左の資格を有して小學校の教育に従事し其の成績佳良なる者但し丙項第二號に就ては年齢の制限を要せず

(注意) 本文の成績は學校に於ける平素の成績にして勤務日數勤務の狀況教授の巧拙等に依る

甲 小學校本科正教員

左の事項に該當し小學校令施行規則第八條(改正規定)の學科及程度に準し相當の學力を有し特に理科數學に關し補修の經歷(學校又は公私設の講習會に出席せる者)ある者に限る

(注意) 學力の補修は僅に一二週間一日二時間を以て足れりとせず一科目に就き少くも三十時間以上の補修をなしたる事を證明するに足るものあるを要す以下同し

一、尋常小學校本科正教員の免許狀を有し五ヶ年以上小學校の教育に従事し現に其の職に在る者

二、小學校准教員の免許狀を有し五ヶ年以上高等小學校の教育に従事し現に其の職に在る者 (注意) 小學校准教員免許狀及尋常小學校本科正教員の二種の免許狀を有し尋常小學校の教育に従事する者も本文同様の取扱を受くべしと雖も二種の免許狀を有する者は尋常高等小學校に奉職し尋常小學校を担任して一部高等小學校の准教員として兼任し成績を擧ぐれば小學校本科正教員の無試

驗檢定に依り免許状を得るに於て利益ありとす

六

乙 尋常小學校本科正教員

小學校准教員若は尋常小學校准教員免許状を有し五ヶ年以上小學校の教育に従事し現に其の職に在る者但小學校令施行規則第百十一條(改正規定)の學科目及程度に然し相當の學力を有し特に理科美術に關し補修の經歷(學校又は公私設の講習會に出席せる者)ある者に限る

丙 小學校專科正教員

左の事項に該當し高等小學校(現行小學校令に依るものは修業年限二ヶ年齊令に依るものは四ヶ年)卒業又は之と同等以上の學力を有する者

一、五ヶ年以上小學校の專科の教授に従事し現に其の職に在る者但し教授したる科目に限る

二、圖畫、音樂、体操、裁縫、手工、農業、商業、英語の一科目若は教科目に關し師範學校本科第一部の學科程度と同等以上の程度に於て之を教授する學校の卒業者但し免許すべき科目は卒業したる科目に限る

(注意) 一本項の學校は中學校又は明治三十二年文部省令第三十四號に依り文部大臣に於て中學校と同等以上を認めたる學校以外の學校をいふ

二日本体育會体操學校本科並別科卒業生は体操科に關し免許状を授與せらる(し)

附記 上申書には前記標準の何れの項に該當する者なるやを明記し其の丙號の二に該當する者に在りては其の學校の學科目及程度修業年限毎週教授時數等を附記するを要す

丁 小學校准教員 (和歌山縣規定)

一、師範學校簡易科卒業證書を有する者

二、小學校教員甲種講習科卒業證書を有する者

三、改正小學校令施行規則實施以後試験檢定に依り尋常小學校本科正教員の職に有る者

四、従前授與したる尋常小學校正教員の免許状を有し五ヶ年以上本縣内の教育に従事し現に其職にある者但履修の教科目に缺くることなき者に限る

(注意) 丁号該當者は年齢に制限なしと雖成績佳良の者に限る

第三章 試験檢定

試験檢定に二種あり一は全學科目の試験を行ひ一は檢定委員會の評決に依り某科目の試験を闕く者にして何れも一定の期日を定め之を告示し試験を施行す

七

甲 全科目の試験を行ふべきもの、學科目及其程度左の如し

八

一、小學校本科正教員

男子に在りては師範學校男生徒女子に在りては師範學校女生徒に課する學科程度に準ず但し手工農業商業英語の一科目若は數科目は之を關くことを得

(注意) 和歌山縣に於ては前項但書の科目は之を關く只本人の志望に依り檢定することとなり以下關くことを得べき科目之に同じ

二、小學校准教員

試験科目及程度左の如し但し農業商業及体操中兵式体操は男子に限り裁縫は女子に限る

修身 道德の要旨

教育 教授法の大意

國語 普通文及小學校教科用讀本の講讀並作文、習字

算術 整數、分數及小數諸等數、歩合算、比例、求積

歴史 日本歴史の概要

地理 日本地理及外國地理の概要

理科 博物、物理、化學の概要

圖書 自在書及簡易なる幾何書

音樂 唱歌、樂器使用法

体操 普通体操及兵式体操

裁縫 通常の衣服の裁ち方、縫ひ方、繕ひ方、

手工 手工の概要

農業 農業の概要

商業 商業の概要

圖書、音樂、手工、農業、商業の一科目若は數科目は之を關くことを得

三、小學校專科正教員

圖書、音樂、体操、裁縫、手工、農業、商業、英語の一科若は數科目とす其程度は師範學校生徒に課する各科目の程度に準ず

前項の外教育の概要及受験科目の教授法を附帶して試験を行ふ

(注意) 小學校專科正教員の試験は小學校檢定委員會に於て修身、國語、算術に關し普通の學力ありと認めたる者にあらざれば之を行はざるべき筈なれば少くとも新令尋常小學校卒業以上の學力あるにあらざれば試験に應ずるも合格することなし

三、尋常小學校本科正教員

試験科目及其程度左の如し但し体操中の兵式体操は男子に限り裁縫は女子に限る

修身 道徳の要旨

教育 教育、教授法及學校管理法の概要

國語 普通文及小學校教科用讀本の講讀並作文、習字

算術 整数、分數、小數、諸等數、歩合算、比例、求積

歴史 日本歴史の概要

地理 日本地理及外國地理の概要

理科 博物、物理、化學の概要

圖畫 自在畫

音楽 唱歌、樂器使用法

体操 普通体操及兵式体操

裁縫 通常衣類の裁ち方、縫ひ方、繕ひ方

音楽は之を闕くことを得

四、尋常小學校准教員

試験科目及其の程度左の如し但体操中の兵式体操は男子に限る

修身 道徳の要旨

教育 教授法の概要

國語 小學校教科用讀本の講讀並作文、習字

算術 整数、分數及小數、諸等數、歩合算、比例

歴史 日本歴史の概要

地理 日本地理及外國地理の概要

理科 博物、物理、化學の概要

圖畫 簡易なる自在畫

唱歌 單音唱歌

体操 普通体操及兵式体操

圖畫、唱歌の一科目若は二科目は之を闕くことを得

乙 某科目の試験を省略し得る者の資格左の如し

一、師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀を有する者

(注意) 師範學校中學校高等女學校の或一科目若は數科目免許狀を有する者にして小學校本科正教員の試験檢定を出願するときは其の科目を除くの外他は悉く試験檢定を受くべきものとす

二、小學校教員免許狀を有する者

(注意) 他府縣と本縣との免許狀に區別なし
三、文部省直轄學校に於て某科目に關し特に教員の職に適する教育を受け卒業したる者

(注意) 本邦には斯る學校なし

四、小學校教員免許狀又は小學師範學科卒業證書を有し其の有効期間満ちたる者

五、小學校教員講習科を卒りたる者

六、中學校又は明治三十二年文部省令第三十四號に依り文部大臣に於て中學校と同等以上と認めたる學校を卒業したる者

七、高等女學校を卒業したる者

前項に依り科目の省略をなすに二種あり一は全科目を省略し一は一科目又は數科目を省略すへき者にして其受験科目左の如し

一、中學校卒業生にして小學校本科正教員の試験檢定を出願する者は教育科音樂科法制經濟科

二、高等女學校補習科卒業生にして教育科の履習なき者及同本科卒業生にして尋常小學校本科正教員及小學校准教員の試験檢定を出願する者は教育科

三、小學校教員講習科を卒りたる者は受験科目なし

四、小學校教員免許狀又は小學師範學科の卒業證書を有し其の有効期間満ちたる者は受験科目なし

五、初等科教員免許狀を有する者にして尋常小學校准教員の試験檢定を出願する者は地理、歴史、理科、教育の四科目

試験檢定分科

試験科目中左記の學科目は下段の小科目に分割し之を一科目と見做し其成績を調査す

尋常小學校及小學校准教員

國語科 講讀、作文、習字、

尋常小學校本科正教員

教育科 教育學、(教授法)、

國語科 講讀、(文法)、習字、

小學校本科正教員 (男子)

教育科 教育學、(教授法)、

國語科 講讀、(文法)、習字、

歴史科 日本歴史、外國歴史、

地理・科	地理、	地文、
數學科	算術、	代數、
物理及化學科	物理、	化學、
博物	動物、	植物、
		礦物、
		生理、
小學校本科正教員 (女子)		
算術、	代數、	幾何、
其の他は總へて男子に同じ		
小學校裁縫專科正教員	裁方、	縫方、
	裁縫科	裁方、
	證明書	(教授法 教育の概要)

試験檢定を受けたる者にして其試験に合格せざるも某科目の成績佳良なる者には其科目の成績に關し證明書を授與せらるへし證明書は從來有効期限三ヶ年なりしも明治四十年小學校令施行規則改正の結果終身有效になりたれば明治四十一年四月一日以後の試験檢定に於て授與を受けたる證明書は終身有效のものたり然れども其以前に於て授與せられたる證明書は受領後三ヶ年に於て無効とす故に試験檢定出願の者にして證明書を有するときは願書に證書寫を添付するの必要あり然るときは當然其科目の試験を關かるものなり

第四章 出願手續

試験檢定及無試験檢定は左記各號の一に該當する者に限り檢定を受くることを得ざるものとす

- 一、禁錮以上の刑に處せられたる者但國事犯にして復権したる者は此の限りにあらず
 - 二、信用若は風俗を害する罪を犯して罰金の刑に處せられ又は監視に付せられたる者
 - 三、破産若は家資分散の宣告を受け復権せざる者又は身代限りの處分を受け債務の辨償を終へざる者
 - 四、免許狀褫奪の處分を受け三ヶ年を経過せざる者
- 檢定の出願は左の書式に依り試験檢定に就きては告示期日前無試験檢定に就きては隨時に所轄郡役所を經由し願書を提出するを要す此場合に於ては同時に手数料を納むるものとす他府縣に就職する者にして和歌山縣小學校教員檢定を出願せんとする場合は豫め其就職地府縣知事の許可を受け檢定願書に許可書寫を添付するを要す其和歌山縣就職の者にして他府縣小學校教員の檢定を出願せんとする場合に於ても豫め本縣知事の許可を受くるを要す然るに本縣就職の教員にして他府縣小學校教員の試験檢定又は無試験檢定を出願し往々此手續を缺く者あり、若は故意に此手續を爲さざる者なきにあらず然れども他府縣の者の檢

定を爲す場合は必ず現住又は原籍地の府縣知事に照會して其履歴及教員たるに不都合の行爲なきや否を調査するものなれば如何に履歴等を構造するも遂に暴露するものなれば決して許可の手續を怠り又は履歴を構造する等のことあるへからず

書式

小學校教員檢定願 (用紙半紙)

私儀和歌山縣内ニ於テ小學校(尋常小學校)本科正(准)教員(小學校專科何々科正教員)志願ニ候間試験檢定(無試験檢定)相受度別紙履歴書添付此段相願候也

(但何々科ヲ加ヘ何處ニテ檢定相受度候)

何府縣何郡(市)何町(村)大字何々番地居住

何府縣華士族平民戸主(何誰何男)(女)等

氏

名 ㊦

年月日

和歌山縣知事宛

前書何ノ誰學校令施行規則第四百條第一號乃至第四號ニ該當スル者ニ無之依テ証明候也

年月日

何府縣郡町村(又ハ市長)

氏

名 ㊦

履歴書 (用紙半紙)

族籍

氏

名

現在ノ職務及俸給又ハ職業等

生年月日

免許狀及證書

一何々免許狀(何年何月何日受領)何府縣又ハ何々

一何々卒業證書(何學校又ハ何々)

一何々證書(全上)

(免許狀及證書寫ハ別紙ニ認ムヘシ)

學業

一年月日何學校ニ入學年月日何科卒業

一年月日何々ニ付キ何科修業又ハ講習ニ年月日修了

業務

一年月日何府縣内小學校訓導ニ任セラレ月俸何圓給與セラル
 一年月日月俸何圓給與
 一年月日何官職拜命或ハ何業ニ從事シ年月日依願免官又ハ退職或ハ廢業又ハ
 現在職從事等合計小學校訓導(准訓導)ノ職ニアルコト何年何ヶ月何々ノ職ニ
 アルコト何年何ヶ月

賞 罰

一年月日何所ニ於テ何々ノ廉ニ依リ何々ノ賞與
 一年月日何所ニ於テ何々ノ廉ニ依リ何々ノ罰ヲ受ク
 右ノ通相違無之候也

年 月 日

右 氏

名 印

副 願 (用紙半紙)

私儀今般小學校(專)科(尋常小學校本科)正教員無試驗檢定出願致候處檢定ノ
 上右資格ニ對スル免許狀御下附不相成節ハ御再查ノ上相當免許狀御下附相成
 度此段副願候也

年 月 日

氏

名 印

知 事 宛

第 五 章 手 數 料

檢定を出願する者又は免許狀の書換若は再渡を出願する者は願書に手数料を添へ提出すハ
 く若し手数料の納付なきときは受験若は書換再渡を許されざるなり又一度納付したる手數
 料は何等の事情あるも其の事情の出願者より出たる場合は之を還付せず府縣知事試驗施行
 を爲れざる場合に於て之を還付せらるべきものとす

手数料は現金を以て納付するを本旨とし願書と共に所轄郡役所(市は直接縣廳)へ納付すハ
 きものなれども他府縣又は郡役所遠隔の地の出願者は受取人知事宛の郵便爲替とし爲替證
 書を願書に添付し提出するも可なり

手数料額左の如し

- 一、本科正教員 金 壹 圓
- 一、准教員及專科正教員 金 五 拾 錢
- 一、免許狀の書換若は再渡 金 參 拾 錢

(注意) 小學校教員の氏名を變更したる場合は其の變更を届出つると共に免許狀

の書換をも出願し免許状記載の氏名を書換へ置かざるべからず

第六章 参考書

受験用参考書は四十年六月和歌山縣告示第二百五十四號に依り定められたれば試験問題は可成該書に依り定むべきを以て受験者は之を熟讀するを要す然るに受験者にして往々其の用書の最も高尚なるものゝみに力を注ぎ却て用書中小學校の教科書に屬するものゝ如きは之を等閑に付するの弊あり注意するを要す而して其の参考用書を列挙すれば左の如し

小學校本科正教員ノ部

科目	書名	冊數	著者	發行所
修身	師範學校用修身教科書	四	中島力造	文學社
	尋常小學修身書	四	文部省	日本書籍株式會社
	高等小學修身書	四	同	同
	教師用	同	同	同
身	普通教育憲法大意	一	市村光惠	寶文館
	教育史教科書	一	中島半次郎	金港堂
	新編教育學教科書	一	大瀨甚太郎	同
	心理學教科書	一	福來友吉	寶文館
	教授法教科書	一	大瀨甚太郎	同
	論理學教科書	一	同	同
	新令學校管理法	一	寺内類	寶文館
育	國定教科書編纂趣意書	一	同	同
	小學校令施行細則	一	同	同

再訂中等國語讀本 自五卷至十卷	論語	六	落合直文	明治書院
	普通教育憲法大意	一	市村光惠	寶文館
教育史教科書	教育史教科書	一	中島半次郎	金港堂
	新編教育學教科書	一	大瀨甚太郎	同
	心理學教科書	一	福來友吉	寶文館
	教授法教科書	一	大瀨甚太郎	同
	論理學教科書	一	同	同
	新令學校管理法	一	寺内類	寶文館
	國定教科書編纂趣意書	一	同	同
小學校令施行細則	國定教科書編纂趣意書	一	同	同
	小學校令施行細則	一	同	同

國語	漢文	地
中等明治讀本 同 教科 中等 日本文學史 教育 新中等國文典 訂 小學校用國語教科書 漢文教科書 十八史畧	六芳賀矢一 富山房 一內海弘藏 明治書院 三三土忠造 富山房 文部省 日本書籍株式會社 五秋山四郎 金港堂 曾先之	最近合地文學 師範學校用 小學地理 改訂最近帝國地理 改訂最近外國地理 四訂帝國新地理附圖
一全 一全 一三 四文部省 一三 一全	一山上萬次郎 大日本圖書株式會社 四文部省 日本書籍株式會社 一三 三省堂 一全	四訂外國新地理附圖 最近合地地圖

學	數	歷史	理
商業簿記教科書 算術教科書 (小學校教師用) 中等教育算術問題 算術教科書	初等代數教科書 初等幾何學教科書 算術教科書	修正本邦史綱 東洋史教科書 新編西洋史綱 附圖共	四訂外國新地理附圖 最近合地地圖
佐野美作 文部省	藤澤利喜太郎 菊地大藏 藤澤利喜太郎 長澤龜之助 文部省	上二 峯岸米造 六盟館 下二 桑原隲藏 六盟館 一 笑作元八 六盟館 一 峯岸米造 六盟館	一全 一山上萬次郎 大日本圖書會社

物理	化學	博物	物
中等物理學	普通化學教科書	最新博物教科書 (植物界) 近式植物生理學教科書	新撰動物學教科書 普通新式礦物學教科書 中等生理衛生教科書 小學校理科教材 於ケル
一		一	一
後藤 福彌	龜 高德平	齊田 功太郎 澤 誠太郎 江 辰三郎 岩 川友太郎 安 東伊三郎 小 幡 男治	新撰動物學教科書 普通新式礦物學教科書 中等生理衛生教科書 小學校理科教材 於ケル
大日本圖書株式會社	開成館	大日本圖書株式會社 六 盟 館	大日本圖書株式會社 內田 老鶴園 金 港 堂 寶 文 館
共益商社	共益商社	共益商社	共益商社

二四

音樂	英語	手工	農業
小學唱歌集 自初篇至三篇 唱歌教科書 自卷一至卷四 初樂典教科書	ステアプツス イングリッシュ 第四第五 スマイルス 品性及職分論抄 神田大、中、小英典 神田第一第二英作文書	小學校手工教科書 甲乙丙丁 教師用手工教科書	新日本農業書
三 音樂取調掛 四 共益商社 一 山田源一 一 多田梅一 一 雅	二 一 一 二	四 文部省	下上 二 森 要太郎
大日本圖書會社 共益商社 開成館	三 省 堂 同 同 同	富 山 房	富 山 房
共益商社	共益商社	共益商社	共益商社

二五

圖書教科書 中學用
九圖書教育會 鍾美堂

圖畫	體操
近世用器書法 正篇續篇 增訂女子習書帖	兵式教練教科書 體操教範 體育之理論及實際 小學校體操教科書 新小學校體操解說及教程
三六盟館六 八教育研究會六 六盟館	五大河原清美 一陸軍省 一坪井玄道外四名 一坪井玄道 一西野辰五郎外七氏
六盟館	日黑書院 東京京橋區五郎兵衛町 小林又七 國光社 大日本圖書株式會社 圖書協會

科目	書名	冊數	著者	發行所
小學校准教員ノ部				

修身	教育	國語	地
師範修身教科書 一、二、三、 尋常小學校修身書 教師用 高等小學校修身書 同 論語	教授法教科書	中等明治讀本 自三卷至八卷 小學校用國語科教科書	改訂最近帝國地理 改訂最近外國地理 訂四帝國新地圖
三吉田靜致 四文部省 四同	一大瀨甚太郎 立柄教俊	六芳賀矢一同 文部省	一三省堂 一三省堂 三三省堂 同
寶文館 日本書籍株式會社 同	金港堂	日本書籍株式會社	三省堂 三省堂 三省堂 開成館

理	算術	歷史	理
初等物理教科書 普通化學小教科書 普通植物學教科書	算術教科書 第三版 中等教育算術問題 算術教科書 (小學校教師用)	小學日本歷史 日本史教科書	四訂外國新地圖 小學地理
一	一	上 二	四
藤井健次郎	文部省	藤岡作太郎	三省堂
同	日本書籍株式會社	開成館	同

裁縫	音樂	科
新裁縫教授書 裁縫教科書 訂裁縫教授法	小學唱歌集 自初篇至三篇 初樂典教科書 祝祭日唱歌集	新動物學教科書 礦物界教科書 近世生理學教科書 配當時小學理科教科書
一	一	一
喜多見 佐子	音樂取調掛 山田源一 多梅 雅 共益商社	岩川友太郎 安東伊三郎 小幡 勇 脇水鐵五郎 丘 淺次郎 高橋 章 安東伊三郎
東洋社	大日本圖書會社 開成館 共益商社	大日本圖書株式會社 開成館 同 日本書籍株式會社

農 業	圖 畫	體 操
新日本農業書 撰	圖書教科書 中學一年 三冊 增訂女子習畫帖 自卷一 二學年 三冊 至卷六 近世用器畫法 正編	小學校体操提要 新小學校体操解說及教程 體育之理論及實際 步兵操典 体操教範
上 森 要太郎	六 圖書教育會 六 教育研究會 二 六 盟 館	一 坪井 玄道 一 西野辰五郎外七氏 一 坪井玄道外四氏 陸 軍 省 同
富 山 房	鍾 美 堂 六 盟 館 六 盟 館	大日本圖書株式會社 圖書協會 國 光 社 小 林 又 七 同

尋常小學校本科正教員ノ部

科 目	書 名	冊 數	著 者	發 行 所
教 育	新教育學教科書 編 教育的心理學 教授法教科書 新令 學校管理法 適用 國定教科書編纂趣意書 小學校令施行細則	一 一 一 一 一	大 瀨 甚 太郎 高 島 平 次 郎 大 瀨 甚 太郎 立 柄 教 穎 寺 內	金 港 堂 文 學 社 金 港 堂 寶 文 館 文 部 省
修 身	師範學 修身教科書 校用 尋常小學校修身書 高等小學校修身書 同 論 語	二 四 四 四	中 島 力 造 篠 田 利 英 文 部 省 文 部 省 同	文 學 社 日 本 書 籍 株 式 會 社 同

	國語	地	理	歷史
算術教科書 第三版	中等明治讀本 自三卷至八卷 教科 新訂中等國文典 小學校用國語科教科書	改訂最近帝國地理 改訂最近外國地理 訂四帝國新地圖 訂四外國新地圖 小學地理	中等にほんれきし	算術教科書 第三版
藤澤利喜太郎	六芳賀矢一 三三土忠造 文部省	一三三省堂 三同 同 同	四文部省	下上二 三上參次
	同 日本書籍株式會社	三三省堂 同 開成館 開成館	日本書籍株式會社	大日本圖書會社

音樂	科	理	算術
初等音樂典教科書 小學唱歌集 自初篇至三篇	近世生理學教科書 每時小學理科教科書	新動物學教科書 撰 礦物界教科書 世生理學教科書	中等教育算術問題 算術教科書 (小學校教師用)
一三 山田源一 多梅雅	一 高橋章臣 安東伊三郎	一 藤井健次郎 岩川友太郎 安東伊三郎 小幡男治 脇水鐵五郎	一 田丸卓郎 龜岡德平
開成館	同 日本書籍株式會社	同 大日本圖書株式會社 開成館	日本書籍株式會社

體操	圖書	裁縫	祝祭日唱歌集
新定小學學校體操解說及教程 體育ノ理論及實際	圖畫教科書 一學年 三冊 二學年 三冊 訂女子習畫帖 自卷一 增至卷六 近正用器書法 正編 二冊 續編 一冊	修訂裁縫教授法 裁縫教科書 撰新裁縫教授書	一 共益商社 一 谷田部順子 一 同 一 喜多見 佐子
一 陸軍省 一 陸軍省 一 陸軍省 一 陸軍省	一 坪井玄道 一 西野辰五郎外七氏 一 坪井玄道外四氏	一 同 一 同 一 東洋社	一 共益商社 一 共益商社 一 共益商社 一 共益商社
			一 共益商社 一 共益商社 一 共益商社 一 共益商社

三四

步兵操典 體操教範	尋常小學校准教員ノ部	科目	書名	冊數	著者	發行所
一 陸軍省 一 陸軍省	尋常小學校准教員ノ部	修身	師範修身教科書 一冊 尋常小學校修身書 教師用 四冊 高等小學校修身書 同 四冊	一 吉田靜致 四 文部省 四 同	資文館 日本書籍株式會社 同	資文館 日本書籍株式會社 同
		教育	教授法教科書	一 大瀨甚太郎 一 立柄教俊	金港堂	金港堂
		中等教科	明治讀本 自一卷 至五卷	五 芳賀矢一	富山房	富山房

三五

國語	地理	歷史	算術	理科
小學校用國語教科書 日本新地理 最新日本新地圖 小學地理 講習用地理教科書 外國ノ部	一 六盟館編輯所 一 同 四 文部省 一 寶文館	一 黑板勝美 四 文部省 一 吉川寶文館 一 日本書籍株式會社	算術小教科書 第六版 算術教科書 小學校教師用	改訂理科教科書 前二 後二 佐藤禮介 根岸福彌
文部省 日本書籍株式會社	六盟館	吉川寶文館 日本書籍株式會社	藤澤利喜太郎 文部省 日本書籍株式會社	六盟館

體操	裁縫	唱歌
小學校體操提要 新小學校體操解說及教程 體育ノ理論及實際 步兵操典 體操教範	修訂裁縫教授法 裁縫教科書	唱歌教科書 卷一、二 小學唱歌集 初篇
一 坪井玄道 一 可兒德 一 西野辰五郎外七氏 一 坪井玄道外四氏 一 陸軍省 一 小林又七	一 同 一 谷田部順子 一 同	二 共益商社 一 音樂取調掛 一 音樂取調掛 一 同
大日本圖書株式會社 圖書協會	同	共益商社 大日本圖書會社 目黒甚七

小學校本科正教員女子ノ部

科目	書名	冊數	著者	發行所
修身	高等女學校用修身教科書	五	文部省	日本圖書株式會社
	尋常小學校修身書	四	文部省	
論語	教師用	四		同
	教師用	四		
教	教育史教科書	一	中島半次郎	金港堂
	新編教育學教科書	一	大瀨甚太郎	同
	心理學教科書	一	福來友吉	寶文館
	論理學教科書	一	大瀨甚太郎	金港堂
	教授法教科書	一	同	同

育	國語	漢文
新令學校管理法 適用教科書編纂趣意書 國定教科書施行細則 小學校令施行細則	再訂中等國語讀本 自第五卷至第十卷 中等明治讀本 同 中等日本文學史 新訂中等國文典 小學校用國語教科書 女子漢文讀本 十八史畧	
一	六	三
寺內 穎	六 落合直文	三 南摩綱紀
寶文館	六 芳賀矢一	文部省
文部省	一 內海弘藏	日本圖書株式會社
	一 三土忠造	富山房
	一 富山房	富山房
	一 明治書院	文學社

地	理	歷史		
最新綜合地文學 師範學校用 小學地理 改訂最近帝國地理 改訂最近外國地理 四訂帝國新地理附圖 四訂外國新地理附圖 最新綜合地文地圖	一 山上萬次郎 四 文部省 一 三省堂 三 同 一 同 一 同 一 山上萬次郎	修女子教科日本歷史 正女子東洋史教本 附圖共 女子西洋史教科書 女子教育 幾何學初步教科書	上 下村三四吉 下 下村三四吉 一 下村三四吉 一 箕作元八 菊地大龍	大日本圖書株式會社 日本書籍株式會社 三省堂 同 同 同 大日本圖書會社

四〇

博	物理化學	數學
最新博物教科書 植物界 新式植物生理學教科書 新動物學教科書 普通鑛物學教科書 新式鑛物學教科書	女子物理學教科書 女子化學鑛物教科書	初等代數教科書 算術教科書 第三版 中等教育算術問題 算術教科書 小學校教師用
一 齊田功太郎 一 澤誠太郎 一 江幡辰三郎 一 岩川友太郎 一 安東伊三郎 一 小幡勇治 一 藤水鐵太郎	田丸卓郎 龜高德平	藤澤利喜太郎 同 長澤龜之助
大日本圖書株式會社 六盟館 大日本圖書株式會社 內田老鶴園	開成館 同	同 同 同 同 同 同

四一

家事	裁縫	音樂	物	中生理衛生教科書	三島通良	金港堂
				等小學校理化教材	棚橋源太郎	實文館
家事教本 前後	訂裁縫教授法 裁縫教科書 新裁縫教授書	祝祭日唱歌集 小學唱歌集 唱歌教科書 初等樂典教科書	祝祭日唱歌集 小學唱歌集 唱歌教科書 初等樂典教科書	下上	佐藤禮介	實文館
				一	共益商社	共益商社
家事教本 前後	裁縫	音樂	物	一	共益商社	共益商社
				三	音樂取調掛	大日本圖書會社
家事教本 前後	裁縫	音樂	物	四	共益商社	共益商社
				一	山田源一	開成館
家事教本 前後	裁縫	音樂	物	一	谷田部順子	目黒甚七
				一	同	同
家事教本 前後	裁縫	音樂	物	一	喜多見佐子	東洋社
				二	塚本比呂子	金港堂

圖畫	圖畫教科書 訂女子習畫帖 增近世用器畫帖	中學校用全	九 圖畫教育會	鐘美堂
			八 教育研究會	六 盟館
圖畫	圖畫教科書 訂女子習畫帖 增近世用器畫帖	中學校用全	三 六 盟館	同
			三 六 盟館	同

小學校專科正教員ノ部

音樂	祝祭日唱歌集 小學唱歌集 唱歌教科書 初等樂典教科書	自初篇 至三篇 自卷一 至卷四	一 共益商社	同	上
			三 音樂取調掛	大日本圖書會社	
音樂	祝祭日唱歌集 小學唱歌集 唱歌教科書 初等樂典教科書	自初篇 至三篇 自卷一 至卷四	四 共益商社	共益商社	
			一 山田源一	開成館	
音樂	祝祭日唱歌集 小學唱歌集 唱歌教科書 初等樂典教科書	自初篇 至三篇 自卷一 至卷四	一 多梅	開成館	
			一 多梅	開成館	

英語	手工	裁縫	農業
ステツプス イン イングリツ 第 五 スマイルス品性及職分論抄 神田大、中、小、英典 神田第一、第二英作文書	小學校手工教科書 甲乙 教師用 丙丁	修裁縫教科書 訂裁縫教科書 裁縫教科書 撰裁縫教授書	撰新日本農業書
二 一 一 二	四	一 一 一	下上
	文 部 省	一 喜多見 佐子 一 同 一 谷田部順子	森 要太郎
同 同 同 三		東 洋 社 同 目 黒 甚 七	富 山 房
三 省 堂			

四四

教育	體 操	圖 畫
後四十年 實用教育學	兵式教練教科書 体操教範 体育之理論及實際 小學校体操教科書 新小學校体操解說及教程	圖書教科書 中學校用全 訂女子習畫帖 近世用器畫法 正篇二冊 續篇一冊
一	一 陸 軍 省 一 坪井玄道 一 坪井玄道外四氏 一 西野辰五郎外七氏	九 圖 畫 教 育 會 八 教 育 研 究 會 三 六 盟 館
一 內 堀 維 文	目 黒 書 院 東京京橋區五郎兵衛町 小林又七 國 光 社 大日本圖書株式會社	鐘 美 堂 六 盟 館 同
大 野 書 店	圖 書 協 會	

第七章 受驗人心得

四五

- 一進退總て試験監督員の指揮に従ひ試験場に在りては静肅を旨とし互に私語するを許さず
- 一試験場には筆、墨、硯(又は墨壺)及び小刀鉛筆の外一切携帯するを許さず
- 一試験中監督員に於て不都合の行爲ありと認むるときは退場を命ずることを許さず
- 一試験問題に就きては質問するを許さず
- 一試験中には試験場外に出づるを許さず若し萬止むを得ざるときは試験監督員の許可を乞ふべし
- 一試験用紙は試験監督員より附與するものを用ふべし私に携帯せる紙に書したる答稿は無効たるべし
- 一受験者は袴若は洋服を着用すべし
- 一答稿は文字分明にして主意明瞭なるを要す
- 一答稿は各葉の始めに何々科と記し其下に必ず自己の番號を記入すべし
- 一答稿數葉に涉るときは丁數を記し每葉に番號を記入すべし
- 一一旦答稿を差出して退場したるときは其試験時間中再び入場するを許さず
- 一一旦答稿を差出したる上は誤謬あることを發見するも之を訂正するを許さず
- 一以上の條件を犯したる證據ありと認むるときは答稿を無効とすることあるべし

- 一進退總て試験監督員の指揮に従ひ試験場に在りては靜肅を旨とし互に私語するを許さず
- 一試験場には筆、墨、硯(又は墨壺)及び小刀鉛筆の外一切携帯するを許さず
- 一試験中監督員に於て不都合の行爲ありと認むるときは退場を命することあるへし
- 一試験問題に就きては質問するを許さず
- 一試験中には試験場外に出つるを許さず若し萬止むを得ざるときは試験監督員の許可を乞ふへし
- 一試験用紙は試験監督員より附與するものを用ふへし私に携帯せる紙に書したる答稿は無効たるへし
- 一受験者は袴若し洋服を着用すへし
- 一答稿は文字分明にして主意明瞭なるを要す
- 一答稿は各葉の始めに何々科と記し其下に必ず自己の番號を記入すへし
- 一答稿數葉に涉るときは丁數を記し每葉に番號を記入すへし
- 一旦答稿を差出して退場したるときは其試験時間中再び入場するを許さず
- 一旦答稿を差出したる上は誤謬あることを發見するも之を訂正するを許さず
- 以上の條件を犯したる證據ありと認むるときは答稿を無効とすることあるへし

後

編

後編

第一章 問題并解答

問題は主として参考用書に依り選擇すと雖も單に學力の点にのみ重きを置かず主として小學校的の知識を要すへければ之が研究を爲す者は須く小學校の教授に必要な事項を選擇研究するを利益とす故に小學校教科に關係ある材料は可成精密に調査し獨り受験の便に供するのみならず實際小學校の教授に支障なからむこと期すへし

從來小學校教員の檢定を出願する者にして参考用書として定められたるものを精讀せずして反て高尚の書物に依り研究を爲し又は小學校教科用書を度外視して反て卑近簡單なる事項をも知らざるか如き觀なきにあらす研究する者の注意すべきこととす

又答案は簡單明了なるを要す然るに從來の受験者にして妄りに冗長の文を弄し若は改竄塗抹等殆ど讀み得へからざるか如き答案を提出する者あり此の如きは其知識の不正確を表明する所以にして受験者の不利益とす故に可成條理正しく只採定者をして讀み易き様簡單明了に記載するを要す又徒に答案の速成を競ひ爲に文字の明了を缺き若は考案に過さず時間を空費するが如きは策の得たるものにあらす

答案を認むるに當りては沈思熟慮先以て平易の問題より解答し漸次難問に涉り所定の時間

中に之を完結するを要す若し然らずして難問題に多くの時間を費し終に平易の問題をも解答するの時間なきに至ることあり大に注意するを要す

第二章 問題

第一節 小學校本科正教員

◎修身科

- 一、個人的實現說社會的實現說ノ大要ヲ説明シ且ツノ說ヲ批評セヨ
- 二、法律制定ノ順序ヲ記セ
- 三、自殺ハ何故ニ不道德ナルカ併セテソノ除外例ヲ記セ
- 四、目下我が國農民ガ陷リツ、アル不公徳ノ實例ヲ列舉セヨ
- 五、進化學的快樂說ノ大要ヲ說キ且之ヲ批評セヨ
- 六、本務ノ本質ヲ説明セヨ
- 七、誠實及勇氣ノ必要ナル所以
- 八、修徳ノ方法如何
- 九、我國ニ於テ法律及命令ハ如何ナル手續ヲ經テ發布セラレ、カ

- 一〇、普汎的快樂說(功利說)ノ大要ヲ述ベ且ツ之ヲ批評セヨ
 - 一一、自由ノ權利トハ如何ナルコトナルカ
 - 一二、憲法トハ如何ナルモノナルカ
 - 一三、教育者ニ愛情ノ必要ナル所以ヲ述ベヨ
 - 一四、禮儀ニ付キテノ心得ヲ述ベヨ
 - 一五、婦人ニ特ニ大切ナル徳目ヲ舉ゲ且ツ其理由ヲ述ベヨ
 - 一六、言語ニ付キテノ心得ヲ述ベヨ
 - 一七、義務ト本務トノ區別ヲ説明セヨ
 - 一八、左ノ解釋ヲセヨ
 - イ、恭儉己ヲ持シ
 - ロ、公益ヲ廣メ世務ヲ開キ
 - 一九、社會的實現說ノ大要ヲ述ベヨ
 - 二〇、國体及ビ政体トハ如何ナルコトナルカ
 - 二一、教育者ノ職責ヲ述ベヨ
 - 二二、自重ノ意義及ビ其必要ヲ述ベヨ
 - 二三、左ノ解釋ヲナセ
- 國体ノ精華 徳器ヲ成就シ

- 二四、徳トハ如何ナルコトヲ云フカ
- 二五、婦人ニ特ニ必要ナル徳目ヲ擧ゲ且ツ其理由ヲ記セ

◎教育學 (教育學、管理法、教授法)

- 一、徳川時代ノ寺子屋ノ教育方法ヲ述ベ且當今ノ教育法ニ比シテ長短アル点ヲ擧ゲヨ
- 二、年齢ト心意ノ發達トノ關係ヲ説明セヨ
- 三、衝動、本能、願望、及、意思ノ區別如何
- 四、正當ナル「定義」ヲ得ルコトヲ示シテ要件ヲ學示セヨ
- 五、教育ノ目的上國家主義ト世界主義トヲ比論セヨ
- 六、作業ノ教育上ノ價值ヲ説明シ且之ヲ課スルルル注意スルル簡條ヲ述ベヨ
- 七、實利ヲ目的トスル教育說ヲ唱ヘタル教育家ヲ擧ゲテ其說ノ要點ヲ述ベ且之ヲ批評セヨ
- 八、人ノ氣分トハ如何ナルコトナリヤ又兒童ノ氣分ヲ良クスルルハ如何ナル注意ヲ要スルカ
- 九、記憶、想像、思考ノ三作用ノ差異ヲ明ニ併セテ兒童ガ綴方ヲナスニ當リ此三作用ガ如何ニ働クカコトヲ述ベヨ
- 一〇、教育ノ効力ヲ制限スルモノハ何カ又之ニ對シテ教育者ハ如何ニ務ムベキカ

- 一一、兒童ヲ懲罰スル目的ヲ説明シ且之ヲ行フ時注意スルル簡條ヲ擧ゲヨ
- 一二、論理學上ノ命題トハ如何ナルモノナリヤ又其種類ヲ例示セヨ
- 一三、刺激ト感覺トノ關係ヲ述ベヨ
- 一四、「品性」ノ心理學的説明ヲ問フ
- 一五、演繹推論ニ於テ「中名辭不擴充ノ過誤」(或ハ「不當中名辭ノ過誤」)ト稱スルハ如何例ヲ擧ゲテ説明セヨ

- 一六、日課案ヲ編製スルルニ根據トスルル簡條ヲ擧ゲヨ
- 一七、兒童訓育上家庭生活ト學校生活トノ差別並ニ兩生活ヲ協同セシムルル必要ニツキテ述ベヨ

- 一八、こめにゆゝす氏ノ教育上ノ功績ヲ記セ
- 一九、吾人ハ兒童ヲ教育シテ將來如何ナル人トナラシムベキカ
- 二〇、其習慣ヲ養成スルルニ就テノ要件ヲ問フ
- 二一、注意ヲ惹起スルル簡條ヲ述ベヨ
- 二二、概念ノ内包ト外延トノ關係ヲ記セ
- 二三、ベスナルルル氏ノ畧歴ヲ記セ
- 二四、國語科話し方練習ノ要件ヲ擧げよ

- 二五、暗算、筆算、珠算の得失を述べよ
- 二六、歴史科の教授案を記せ
- 二七、地理科郷土誌の教法を述べよ
- 二八、小學校の加設科目について述べよ
- 二九、高等小學校の性質について述べよ
- 三〇、小學校教科用圖書中、兒童に使用せしむべからざるものを挙げよ
- 三一、就學の免除及び猶豫の場合を挙げよ
- 三二、教授時間割調製上の注意を述べよ
- 三三、就學事務中、市町村立尋常小學校長に屬する事務如何
- 三四、小學校ノ教科目ノ種類ヲツキテ述ベヨ
- 三五、男女兩性混同教育ノ可否
- 三六、學校沿革史記載心得
- 三七、文字文章の教授に關する要件を挙げよ
- 三八、算術問題の提出法如何
- 三九、理科に於て自然物及び自然現象教授上の注意を述べよ
- 四〇、修身教授上諸徳ノ配當ヲツキテ述ベヨ

四一、國語教授上句讀ヲツキテ述ベヨ

四二、日本歴史卷四明治昭代ノ内政中ニ教育、産業、交通等現時ノ文明ニ關スル記事ヲ缺

ケル理由

四三、明治三十三年四月二日生誕の兒童の學齡に達する年月日就學義務の生ずる年月日及

其就學の始期如何

四四、學校長は如何なる場合に於て兒童の出席を停止することを得るか

四五、高等小學校の男兒及女兒の爲に第一學年より各學年を遍して手工科を課し又男兒の

爲に英語科を課せんと欲す如何なる手續を要するか

四六、教授上復習の目的及之を行ふに當り遵奉すべき緊要なる條件如何

四七、左の數を暗算せしむる経路如何

(1) 13-5 (2) 42+39 (3) 17×3

(4) 58+3 (5) 248-78 (6) 35×9

四八、理科にて晝夜に長短を生ずる理を教授する時の教授を作れ

◎國語科 (讀文、文法、作文、習字)

◎講讀

一、飛鳥川の淵瀬常ならぬ世にしあれば時移り事去りたのしびかなしびゆきかひてはなやかなりしあたりも人すまぬ野らとなりかはらぬすみかは人あらたまりぬ桃李のいはねば誰とともにか昔を語らひまして見ぬいにしへのやんごとなかりけむ跡のみ予いはかなき

二、戦争は普遍平等なるべき文學をして特殊差別の文學たらしめ三世相通の奥妙を没して世間一時の好尚に供す就中文學の最も高尚なるものすなはち純乎たる客觀の劇詩小説のたぐひは暫くはこれがために影をかくさむ

以上傍線ヲ施セル語句ヲ詳解シ更ニ全文ヲ通解スベシ

三、家範、啓沃、科學、妻戸、繪言汗の如し

右意義ヲ問フ

四、戦記類ノ重ナル着書ヲ擧ケ且戦記類ノ出テ原因及後代ニ及ボセル影響ヲ略述セヨ

次ノ二問ヲ平易ナル文ニテ解釋セヨ

五、干戈天下に旁午して兵馬倥傯肝腦とこしなへに地に塗る

六、秋の長閑にして物靜なるはたとへば肉體は衰へたれど精神はなほ健なる人の後世の信心堅固にして老いていよいよ心の花の開けたらむがごとし人は秋の景物を黯澹落莫なるものとなしこのうつくしの世の中にあるれろろしき元機活動し生物のすみかなる氣土

水の三界は互に相呑噬して止む時なく又人間には惡害と不幸と纏綿して絶えて行末の煎まれぬいと淺ましきものなりと思ふあはれ世の人の信念もわが思ひなせる如くあらばやあはれ死は常に生を産み惡は常にみづから亡び行くことを知らせばやあはれこのれろろしき嵐のあなたに麗しき天つ日のほのぼのとさしのぼる影を見せばや然らば何物か喜の種ならぬ。

七、徳川時代ニ於ケル和漢混淆文体ノ重ナル着書並ニ作者ヲ紹介セヨ

次ノ二問ヲ解釋セヨ

八、右の手に爲す所を、左の手に知らしむること勿れ。隠れたるを鑑み給ふ神は、顯に報いたまふべけれなり

九、故岩倉右府公は摺紳有職の家に生ひ立ちたまひしかど、夙に大勢を達觀して公政に公武の別なきことを看破し、中興の實を擧ぐるために神武の古に復るといへる一大義を唱へたまへるは、これぞ明治の朝廷に人ありとは申すべき。その一大義は百揆庶政の原動力となりて藤原氏以來千有餘年間の盤根錯節をばすべて破竹の勢を以つて破りたり。世の人は明治の中興は五百年來の武門の政を破りたるなりと思ふらめど、心ある人は溯りて天平以來の宿弊の更に破りがたきを破られたることを知るならん。(梧陰存稿)

一〇、左ノ語ヲ解釋セヨ(漢字ニハ假名ヲ附セヨ)

後昆、允准、打算、不覺、操觚、黄金時代、適者生存、こちらし、うたかた、ちなみ、

一一、左ノ文ヲ解釋セヨ

イ、風の夕に落日を見る身は恰も大聖の臨終に侍するの感あり、莊嚴の極平和の至凡夫も靈光に包まれて肉融け靈獨り端然として永遠の濱にイヒを覺ゆ、物あり融然として心に浸む、喜といはむは過ぎ哀といはむは未だ及ばず。(自然と人生)
ロ、現にまのあたりに見奉りしは、紫宸清涼の御座に朝政さこしめさせ給ふを、百の官人は、かく賢き君すとて、詔畏みてつかへまつりし。近衛院に禪りましても藐姑射の山の瓊の林に禁めさせ給ふを、思ひさや麋鹿のかよふ路のみ見わた、階でつかふる人もなき深山の荆の下に、神がくれ給はんとは。萬乗の君にてわたらせ給ふさへ、宿世の業といふものの、恐ろしくろひたてまつりて、罪を逃れさせ給はざりしよ。

松山の浪の景色はかはらじを

かたなく君はなりまざりけり。

◎文法

一、文語ノ動詞ト口語ノ動詞トノ異同ヲ辨ゼヨ

二、例ヲアゲテ單文複文ノ差異ヲ説明セヨ

三、助詞ノ「は」「と」「ども」「せ」「ども」「が」ガ動詞助動詞形容詞ニ連續スル仕方ヲ詳説スベシ

四、條件ト下ニ來ルベキ語トノ呼應ヲ説明スベシ

五、助詞(關係詞)ノ「は」「と」「ども」「せ」「ども」「が」ガ動詞助動詞形容詞ニ連續スル仕方ヲ詳説スベシ

六、呼應法ヲ説明スベシ

七、左ノ文ヲ品詞ニ解剖セヨ

好んで喫煙をなすものは、直に其害を受くるに至らずと雖も、しかも若干の年月の間には、悪しき影響なからむや

八、左ノ歌ヲ文章篇ニヨリ解剖セヨ

東風吹かば匂ひおこせよ梅の花主なしとて春を忘るな、

九、左ノ二文ニ若シ誤アラバ正セ、(但シ簡單ナル理由説明ヲ附セヨ)

イ、よきといひて譽むもあしといひて毀るも人の自由なり人の毀譽によりて愛喜するものは「わが心」なる語を用ゆる資格なきものなり、
ロ、呼ばい答ふ音するに、人もや居ると溪を傳ふて、たどり行けど、水聲鳥語の外に

は、耳に聞くものもなく、高山緑樹ならでは目に見るものもなし、

一〇、句ノ種類ヲ説明セヨ

一一、左ノ語ノ文語口語兩様ノ活用ヲ示セ

例 有 落 着 讀

一二、左ノ文章ニ誤アラハ正メ且ツ其ノ理由ヲ説明セヨ

1、我若し善人なれば人誰か誹らむ

2、此の事の成就するまでには多くの年月を経るらむ

3、嗅ひで其の香を知り食ふて其の味を知る

一三、左ノ文章ノ係結ヲ説明シ若シ誤アラハ正セ

1、心元なくなん思ひ侍りき

2、聖人の教を忘れしころかへすぐも愚なれ

3、就中下瀬氏の功や最大ならめ

一四、左ノ諸語ハ如何ナル品詞ニ属スルカ

明なり。 誰。 大方。

一五、助動詞「べし」ノ用法ヲ問フ

一六、動詞四段活、上二段活、下二段活ハ口語ニテ如何ニ活用スルカ

一七、左ノ文ノ誤ヲ正セ

常に忙しどゆう人ぐらい愚なものはなかるふ

一八、左ノ文ヲ文章篇ニヨリテ解剖セヨ

彼は性質勤勉なれども近來健康を害したれば著しく執務に倦める風あり

◎作 文

一、冷水浴の効用 (普通文)

二、添書を頼む文 (書翰文)

三、己か崇拜する人物の傳記 (普通文)

四、運動を友人にすすむる文 (書翰文)

五、己が奉職せる學校の状況を友に知らする文 (書翰文)

六、處世の法 (普通文體)

七、教育品展覽會開催について自己の意見を述べよる文 (書簡文體)

八、人生の幸福 (普通文)

九、教育品展覽會見物に人を誘ふ文 (書翰文)

◎習 字

美言不信

右楷行草ノ三体ニ認ムベシ

ひもくれてなほも山路にさ
まよふはもみちをしよのし
わさなりけり

右字形ハ如何様トモ假字ニテ認ムベシ

學不厭
教不倦

右楷行二體ニ書ス

白石ハ峻巖ニシテ秋霜ノ如ク
宣長ハ温厚ニシテ春風ノ如シ
故ニ一ハ廟堂ニ立テ堂々ノ議ヲ
ナシテ君ノ忌諱ニ觸ル、
チ辭セズ一ハ世外ニ庵ヲ結ビ
鈴ヲ鳴ラシテ從容自適ス

右楷書ト片假名トチ以テ書ス

縦紙用

事必有志
而後可成

右楷、行二體ニ書セヨ

横紙用

よるづよりも手はよく書か
まほしきわざなり歌よみ學
問などする人は殊に手あし
くしては心劣りのせらるゝ
をうれなにかは苦しからむ
といふも一わたり理はさる
ことながら猶わかずうちあ
はぬこゝちをすする

右行書ト平假名トニテ書セヨ

山のはとりたつぬるみちに、
僧の家あり、紅葉ちりしき
たり、前さいに花すゝき風
にしたかひて、なびくひと
に似たり、源少將馬よりれ
りて
ひとしれぬやどにならるゑ
ろ花すゝきまねけはとま
るわれにやはあらぬ、

書體ハ行書カ或ハ草書ニ平假名
交リ平假名ハ萬葉假名ヲ用キル
モ隨意ナリ

行義達其道

右用紙縱三行ニ各楷行草ニ書ス

清明の雨に新緑も一層色を
ろへ候折から愈御壯康奉賀
候さて家園の新茶昨今始め
て出来仕候間些少なから小
包に託し御ねくり申上候日
永の御入れかへにもなし下
され候はゞ本懐の至りに候
敬具

右用紙ヲ横ニシテ行書又ハ草書
ニ平假名ヲ交ヘテ書スベシ

◎漢文科

一、臨江之人敗得麋麇畜之入門群犬垂涎揚尾皆來其人怒沮之自是日抱就犬習示之使勿動稍
使與之戲積久犬皆如人意麋麇稍大忘己之麋也以爲犬良我友抵觸偃仆益狎犬畏主人與之
俯仰甚善然時啖其舌三年麋出門見外犬在道甚衆走欲與戲外犬見而喜且怒共殺食之狼藉
道上麋至死不悟

右ノ文ニ句讀返リ點送り假名ヲ附シ其ノ意義ヲ解釋セヨ

二、名譽者人人所最重至士君子則其重之勝於生命財產我邦所謂武士道者要保此名譽而已故
曰人是一代名則萬世夫人人推此重名譽之心及之他人以重其名譽不毀損之是即對社會之
公德也如所謂誣告誹謗是不重他人名譽者抑君子檢揚人之善不摘發人之惡蓋以其善惡邪
正不可遽判定之也

右ノ文ニ句讀返リ點送り假名ヲ附シ且傍線ヲ施セル字句ヲ解釋セヨ

三、左ノ文章ニ句讀訓點ヲ附シ且ツ解釋セヨ。
昔楚襄王從宋玉景差於蘭臺之宮有風颯然至者王披襟當之曰快哉此風寡人所與庶人共者
耶宋玉曰此獨大王之雄風耳庶人安得共之玉之言蓋有譏焉夫風無雄雌之異而人有過不遜
之變楚王之所以爲樂與庶人之所以爲憂此則人之變也而風何與焉士生於世使其中不自得

將何往而非病使其中坦然不以物傷性將何適而非快
四、左ノ語句ノ解釋。

1、月旦

2、天下桃李悉在公門矣、

3、誰知烏雌雄

4、睢陽江淮之保障若棄之賊必長驅、

五、左ノ文章ヲ漢譯セヨ。

仲平最敏の質を以つて。學を嗜むこと食色よりも甚し。故に格致日に新にして識度日に躋り、家を治むるに善く出入の計を審にし、不虞の變をば之れを待つこと備あり。推して邦國天下に至るまで其の利病得夫に於いて確として成算あり。咸施行すべし。之れを今世の士に非すと謂ふも譽に非るなり。

六、左ノ文章ニ句讀訓點ヲ附シ且ツ解釋セヨ。

將以保吾心之良必有以去吾心之害何者吾心之良吾所固有也吾所固有而不能以自保者以其有以害之也有所害之而不知所以去其害則良心何而自存哉故欲良心之存者莫若去吾心之害吾心之害既去則心有不期存而自存者矣

七、左ノ文章ヲ漢譯セヨ。

爾森芳洲年八十一、始めて將に和歌を學ばんとす。而して意に謂へらく、詩は則ち時有りて之を作る。稱すべき者なしと雖、平仄を譯らざることを得。國風に至りては、

一も其の法を解せず。先づ古歌を熟讀するに如くは莫し。自今古今集を讀むこと一千遍、而して後に自ら賦すること一萬首ならば、其れ或は少しく通する所有らむと。乃ち二年を経て千遍畢り、又三年にして萬首就れり。

八、左ノ文章ニ句讀訓點ヲ施シ、且ツ之ノヲ解釋セヨ。

信義行於君子而刑戮加於小人刑入於死者乃罪大惡極此又小人之尤甚者也寧以義死不苟幸生而視死如歸此又君子之尤難者也方唐太宗之六年錄大辟囚三百餘人縱使還家約其自歸以就死是以君子之難能責其小人之尤者以必能也其囚及期而卒自歸無後者是君子之所難而小人之所易也此豈近於人情哉

九、左ノ語句ノ解釋。

イ、擊壤鼓腹。

ロ、暴暴然若喪家之狗。

ハ、聖人不貴尺璧而貴寸陰。

ニ、市坊井然縱橫如棊枰。

一〇、左ノ字ハ字書ノ何ノ部何畫ニテ索出スベキカ。

今 物 部 烈 敎 獨

一一、左ノ文章ニ句讀訓點ヲ施シ、且ツ之ノヲ解釋セヨ。

觀夫高祖之所以勝項籍之所以敗者在能忍與不能忍之間而已矣項籍惟不能忍是以百戰百勝而輕用其鋒高祖忍之養其全鋒而待其弊此子房教之也當淮陰破齊而欲自王高祖發怒見

於辭色由此觀之猶有剛彊不能忍之氣非子房其誰全之

一、使我有洛陽負郭田二頃豈能佩六國相印乎。

ハ、金波激澗蹙舟而生

一三、左ノ反切ハ如何ナル音トナルカ。

渠竹切 丈里切 徒結切 章刀切 即夷切

一四、和文漢譯。

楠公の墓は、攝津の湊川に在り。歳久しくして荒廢し、狐兔窟を爲せり。徳川光圀之れを聞き、墓を修めて碑を立て、題して嗚呼忠臣楠子之墓と曰ふ。

一五、左ノ語ヲ解釋セヨ。

血食 徑庭 蹇々匪躬

一六、左ノ句ヲ解釋セヨ。

復不來 不常勝 敢不當

一七、左ノ文ヲ解釋セヨ。

子未親乎熱石以求灰者乎火力具足矣乃得水而遂化

一八、左ノ文ニ句讀訓点ヲ施セ。

木之生或斃而殤或拱而天幸而至於任爲棟梁則伐不幸而爲風之所拔水之所漂或破折或腐幸而得不破折不腐則爲人之所材而有斧斤之患其最幸者漂沉汨沒於滯沙間不知其幾百年而其激射齧食之餘或髣髴於山者則爲好事者取去強之以爲山然後可以脫泥沙而遠斧斤

◎地理科

(地理、地文)

◎地理

一、日本本州ニアル主要ナル鉄道ヲ舉ゲテ其發着点ヲ記セ

二、本邦ノ氣候ニ付キテ述ベヨ

三、アヲヤ洲ノ主要ナル山脉系統ヲ記セ

四、本邦ニ輸入スル棉花、鐵類、石油、羊毛ノ主産地ヲ舉ゲヨ

五、左記ノ所在地及ヒ其著シキコトヲ記セ

清津 マウカ 牛尾 パタピヤ 西安

オタワ アンベルス 夷港 カンチアエ タルボルン

六、山梨縣ノ略圖ヲ描ケ

但記載スベキ事項ハ地理科國定教科書通リ

七、奥羽地方ニ於テ縣界ト國界ト一致セザルトコロヲ記スベシ

八、本邦ノ海外移民ニツイテ知ルトコロヲ記セ

九、左ノモノヲ説明スベシ

イ、京釜鐵道

ロ、大北鐵道

ニ、イブラルタル海峽、

ホ、膠州灣租借地、

ハ、セントピタルドノ堅道

一〇、南米ニ於ケル我が條約國ヲ列擧セヨ

一一、濠洲ノ動植物ニツイテ

◎地 文

一、新式太陽曆ノ平年閏年ノ定メ方ヲ述ベヨ

二、間歇泉噴出ノ理ヲ説明セヨ

三、湖沼ノ作用ヲ説明セヨ

四、霜、雪、霰、雹ノ生成上ノ區別ヲ述ベヨ

五、潮流トハ如何ナルモノヲ云フカ

六、太陽曆ノ種類及ビ其定メ方ヲ説明セヨ

七、水ノ營力ヲ説明セヨ

八、天氣トハ如何ナルコトヲ云フカ

九、メルカトル投影法ヲ説明シ且ツ此法ヲ用ヒタル地圖ノ長所ト短所トヲ擧ゲヨ

一〇、珊瑚島ノ成因ヲ説明セヨ

一一、地層ニ皺曲ヲ生スル原因及ビ皺曲ノ種類ヲ述ベヨ

一二、太陽曆ト大陰曆トノ相違及ビ其ノ利害ヲ説明セヨ

一三、本邦ニ來ル暴風ノ多クハ東南風ニ初マリ西風ニ終ル其ノ理由ヲ説明セヨ

一四、左ノ言葉ヲ説明セヨ

向斜、背斜、層向、傾度、

一五、本邦附近ノ海流ヲ説明セヨ

一六、山岳ノ生成ヲ説明セヨ

一七、氣温ノ高マル所以ヲ説明セヨ

一八、汽船アリ横濱ヲ出帆シ米國サンフランシスコ港ニ向ハントス最早陸ノ近ヅキタルヲ知
港ノ方向ヲ定メントス其ノ船ノ現在ノ位置及ビ港ノ方向如何
但シ 桑港ハ凡西徑百二十三度 北緯三十八度

横濱ハ東徑百三十九度 北緯三十八度

ソロノメーターハ地方時ト時差六時間ヲ示シ

北極星ハ地平線上三十度ニアリ

◎地 誌

- 一、我國ニテ紡績業ノ盛ナル地方ヲ擧ゲヨ
- 二、本邦ノ行政組織ノ大要ヲ述ベヨ
- 三、ベルギー國ノ土地ト産業トノ關係ヲ説明セヨ
- 四、左記ノ所在地及ビ其著シキコトヲ記セヨ
 - 郡内地方
 - 中尊寺
 - 大稻埕
 - 大牟田
 - 大邱
 - 成都
- 五、左記ノ品物ハ如何ナルモノナルカ其用途及ビ産地ヲ併セ記セヨ
 - ハラフアンス
 - キンハリ
 - メルボルン
 - シンブロン
 - ハバナ
 - バナナ
 - 磚茶
 - 橄欖油
 - チニコソート
 - コブラ
- 六、支那ニ於ケル外國ノ租借地コツキ知ルトコロヲ記セ
- 七、露國ノ地理ト生業ノ關係ヲ述ベヨ
- 八、我國ノ航海業コツキ知ルトコロヲ述ベヨ
- 九、左ノ各地ノ位置ト特點ヲ言ヘ
 - 武昌
 - リヨン
 - ブレスラウ
 - シカゴ
 - 多治見
 - 八王子

◎歴史科 (日本史 外國史)

◎日本史

- 一、上古、三韓交通ノ爲メ我國ノ受ケタル影響如何
- 二、徳川幕府ノ鎌倉及室町幕府ニ比シ長ク太平ヲ保ナル所以ヲ述ベヨ
- 三、左諸項コツキ梗概ヲ述ベヨ
 - 壬申乱
 - 五攝家
 - 男山行幸
- 四、左ノ人々ノ零曆ヲ述ベヨ
 - 大伴金村
 - 藤原彰子
 - 土佐光信
 - 林信勝
- 五、東山時代ノ財政ヲ述ベヨ
- 六、徳川家康ノ文學復興ヲ述ベヨ
- 七、左ノ事項コツキ概述セヨ
 - 題目宗
 - 丙上杉
 - 日章旗ノ起リ
- 八、左ノ人々ノ事蹟ノ要概ヲ問フ
 - 文室綿麻呂
 - 立入宗繼
 - 契沖
- 九、氏族政治トハ何カ
- 一〇、武家勃興ノ原因如何
- 一一、江戸時代風俗ノ變遷ノ大要ヲ叙セヨ
- 一二、明治時代ニ於ケル日韓ノ交渉ヲ叙セヨ

- 一三、高天原トハ何カ
- 一四、佛教ノ傳來及其流行（但奈其朝ノ終リマデ）ニツキテ記セ
- 一五、一條天皇ノ御宇ノ才媛ノ輩出トツノ原因ヲ問フ
- 一六、明治時代ニ於ケル日露ノ交渉ヲ叙セヨ

◎外 國 史

- 一、蒙古人ノ歐州侵襲ヲ述ヘヨ
- 二、ルイ十四世ノ頃ニ於ケルフランスノ國勢如何
- 三、露土戰爭（紀元一八七七年）ノ結果ヲ問フ
- 四、宋代ニ於ケル儒學ノ發達ヲ述ヘヨ
- 五、ローマ人トギリシア人トヲ比較セヨ
- 六、中古西歐ノ社會及制度ニツキテ叙セヨ
- 七、佛教ノ興起及其東漸ニツキテ記セ
- 八、唐ノ外國經營如何
- 九、ビラミツドノ戰トハ何カ
- 一〇、ローマニ於ケル三頭政治ニツキテ記セヨ
- 一一、中古西歐ノ社會及制度ニキテ叙セヨ

- 一二、韓土古今ノ變遷ノ大要ヲ問フ
- 一三、宋代ノ學藝及宗教ニツキテ記セヨ
- 一四、リシウリウーノ事蹟ヲ記セ
- 一五、ペテロ大帝時代ニ於ケルロシアノ勃興ヲ述ヘヨ
- 一六、東漢トローマノ交通ヲ述ヘヨ
- 一七、三十年戰役ノ結果ヲ問フ
- 一八、左ノ人々ノ事歴ノ要点ヲ學ケヨ
謝安 ヴァスコダガマ リシウリウー カブール

◎算 術 科

（珠算、筆算、代數、幾何）

◎珠 算

- 一、日露戰役ニ於ケル我陸軍ノ損害概數ハ即死者四万七千人ニシテ死傷合計ノ約一割七分六厘ニ當リ死傷合計ハ病者ノ約九割四分ニ當ルトイフ死傷病者ノ總數幾許ナルカ但シ計算ノ各段ニ於テ千人未満ハ四捨五入セヨ
- 二、イ、 45.685×7.326 ノ値ヲ求ム
ロ、右ノ積ニ九箇六分四厘ヲ加ヘ之ヲ八十五箇六分二厘ニテ除シ商ヲ小數第二位マデ

- 三、穀物商アリ麥二百四十石ノ内百八十石ハ一石ニ付八圓七十二錢其他ハ八圓九十六錢ニテ買入レ其後之ヲ一割五分ノ利ヲ得テ賣拂ハントス問フ每一石平均如何ニ賣リテ可ナルカ
- 四、左ノ諸品ヲ括弧内ノ割引ニテ買入ル之ガ資金ヲ年一割二分ノ利率ニテ借入レ六ヶ月ノ後悉皆賣拂フテ買價ノ二割一分ノ利ヲ得タリト云フ純益幾何
 - 一、壹枚ニ付二圓三十八錢ノ毛布 三百五十八枚 (二割引)
 - 一、壹打十二圓ノ帽子 五十八打 (三割引)
 - 一、壹足參圓六十錢ノ靴 百七十八足 (二割引)
- 五、5509590+645ノ値ヲ求ム
- 六、漁車アリ月曜日ノ正午ニ甲地ヲ發シ其週ノ水曜日ノ午後三時ニ乙地ニ到着セリ而シテ兩地ノ距離ハ百八十五里二十八町十三間三尺ナリト云フ平均一時間ノ速度幾何
- 七、 456.36×1.25 ノ値ヲ求ム
- 八、縮尺二萬分一ノ地圖上ニ於テ甲乙兩地ノ距離十二「センチ」七「ミリ」ナルトキハ兩地實際ノ距離何里何町ナルカ
- 九、委託品ノ賣揚代金二千四百五十二圓二十四錢アリ口錢百分ノ二半ヲ差引キ賣主ヘ送金

スベキ手形ヲ買ハントスルニ額面ノ百分ノ一割ニ歩五厘ノ手数料ヲ要スト云フ賣主ガ受クベキ正味手取金高如何

- 一〇、或年ノ三月二日ニ百二十圓ヲ、同二十七日ニ八十七圓ヲ銀行ニ預入レ其四月三十日ニ百圓ヲ引出シタリ日歩一錢二厘ノ割ニテ同年五月三十一日ニ於ケル帳尻(元利合計ノコト)幾許ナルカ
- 一一、底ノ半徑五寸、高サ一尺五寸(共ニ内法)ナル内空ノ圓壙ニ水幾升ヲ充タシ得ルカ、但シ一升枴ノ内法ハ底ノ縱横各四寸九分深サ二寸七分ナリ
- 一二、乘法、除法ニ於テ積、商ノ位取りハ如何ニシテ定ムルカ、
- 一三、 $6975.35 + 133 - (5.949 - 2.735) + 21.42 \times 9.324$ ノ値ヲ求ム
- 一四、白米相場一圓ニ六升三合ノトキ或家ニテ毎月米代八圓七十五錢ヲ拂フト云フ此家ニテ一ケ年ノ食フ米高幾何ナルカ
- 一五、毎日刊行ノ新聞紙アリ一枚賣ノ代價一錢五厘ニシテ一ケ月前金拂ナレバ三十五錢三ヶ月分前金拂ナレバ一圓ナリ毎日一万三千枚ヲ印刷シ内三千六百枚ハ三ヶ月分前金四千七百六十枚ハ一ケ月前金残りハ一枚ヅ、賣リ三ヶ月ノ後ニ至リ千二百五十七枚賣殘レリト云フ此三ヶ月間ノ總賣上金何程ナルカ、但一ケ月ハ三十日トシテ計算スベシ
- 一六、 $13\text{m}26717\text{m}5\text{r}$ ヲ 243 、ヨテ除スベシ、尺以下第三位ヲ算出セヨ、

- 一七、球ノ体積ハ半徑ノ立方ト比例スルモノナリ今半徑五寸ノ球ノ体積五百二十三立方寸奇零六ナルキハ半徑七寸奇零三ノ球ノ体積幾何ナルカ、
- 一八、銀行割引ノ歩合ヲ年六分トシ金五千六百三十五圓ニテ額面五千七百五十圓ノ手形ヲ買フニハ手形ノ満期日ヨリ何ケ月前ニ於テセザルベカラザルカ
- 一九、イ、 45.685×7.826 ノ積ヲ求ム
 ロ、右ノ積ニ九箇六分四厘ヲ加ヘ之ヲ八十五箇六分二厘ニテ除シ商ヲ小數第二位ヲ求メヨ

◎筆算

- 一、四男二女ニテ毎日八時間ゾ、働キ五日間ニ二町一反ノ田ヲ耕ストイフ然ルトキハ今一男一女ヲ増シテ十六日間ニ縦四百四十間幅九十間ノ矩形田ヲ耕スニハ毎日幾時間ゾ、働クベキカ但一男一女ノ比ハ八ト五トノ如シ
- 二、空氣ハ容積百分中ニ酸素二〇、七窒素七九、三分ヲ含ムトシ又酸素及窒素各一立方尺ノ重サノ比ヲ八ト七トノ如シトスレバ空氣ハ重サ百分中ニ幾何分ノ酸素及窒素ヲ含ムコトトナルカ各小數一位ヲ求メソレヨリ下ハ四捨五入セヨ
- 三、目方百分中ニ鹽十三分ヲ含ム海水ヨリ其幾分ヲ蒸發セシムレバ目方百分中ニ鹽二十五分ヲ含ム水ヲ得ベキカ

- 四、甲乙二ツノ水桶アリ甲ノ中ニハ水七石四斗乙ノ中ニハ水二石二斗アリ今甲ヨリ乙ニテ時間毎ニ三斗五升ノ水ガ流レ込ム装置ヲナサバソレヨリ幾時間ノ後乙ノ中ノ水ガ甲ノ中ノ水ノ二倍トナルベキカ
- 五、四角形ノ郡村宅地ヲ測量シテ對角線ノ長サ十三間半此對角線ヲ底邊トセルニツノ三角形ノ高サ六間ト八間五尺トヲ得、更ニ他ノ對角線ヲ測リテ其長サ十五間二尺及此對角線ヲ底邊トセルニツノ三角形ノ高サ六間五尺ト六間二尺トヲ得ヨリ前後測量ノ結果ヲ平均シテ得ベキ此郡村宅地ノ坪數幾何ナルカ
- 六、分數ヲ小數ニ直スルメニ分母ヲ以テ分子ヲ割ルニ割リ切レズシテ出ヅル所ノ限リナキ小數ハ必ズヤ循環小數ナリ其理由ヲ問フ
- 七、汽車ノ乗客ガ或ル墜道ノ概畧ノ長サヲ知ランガ爲ニ脈搏ヲ數ヘタルニ墜道ニ入りヨリリ墜道ヲ出ヅルマデニ六十七搏テリトイフ此人ノ脈ハ一分時間ニ七十二搏ヲ汽車ハ一分時間ニ二十哩ノ速サニテ走り、六十一哩ハ二十五里ニ當ルトシテ計算スルトキハ此墜道ノ長サ何町何間トナルカ但間未滿ハ四捨五入セヨ
- 八、五分利附公債額面六萬圓ヲ額面百圓ニ付九十一圓三十錢ノ相場ニテ賣リ拂ヒテ六分利附市公債額面百圓ニ付九十九圓ノ割ニテ買ヒタル人アリ此人ノ購買セシ市公債ノ額面幾何ナルカ又此賣買ニヨリテ生ズル此人ノ一ケ年ノ收入上ニ於ケル増減幾何ナルカ

九、小麥若干俵アリ之ヲ一俵三圓五十錢ノ大麥ト交換スレバ俵數ハ八俵ダケ増シ若シ又之ヲ一俵六圓ノ米ト交換スレバ俵數ハ七俵ダケ減ズベシトイフ小麥ノ俵數及其一俵ノ直段如何、

一〇、半紙一帖ハ二十枚美濃紙一帖ハ四十八枚ナリ幅八寸長サ一尺一寸ノ半紙一帖ノ價ヲ二錢七厘幅九寸二分長サ一尺三寸三分ノ美濃紙一帖ノ價ヲ二十一錢トシテ半紙ヲ貼レバ四圓五十錢カ、ル面積ヲ美濃紙ニテ貼ルニハ幾何ノ費用ヲ要スル勘定トナルカ但一錢未滿ハ四捨五入セヨ

一一、或人地面ノ賣買ノ媒介ヲナシ買主ヨリハ買主ガ拂ヒタル金高ノ五歩ヲ貰受ケソレマケテ控除シタル殘金ヲ賣主ヘ渡シ賣主ヨリハ實際賣主ノ手ニ入リタル金二千六百六十圓ノ二歩ヲ謝禮トシテ受取レリトイフ周旋人ガ買主賣主ノ雙方ヨリ貰ヒシ金高ハ合計幾何トナルカ

一二、金銀混合ノ一塊アリ其目方八十一匁ニシテ其比重ハ一三、五ナリ今金ノ比重一九、五ニシテ銀ノ比重一〇、五ナリトセバ前ノ一塊中ニ含ム金銀各ノ目方如何

一三、整理公債證書(年五歩利附)七千八百圓ヲ有スル人アリ之ヲ額面百圓ニ付市價九十三圓五十錢ニテ悉ク賣拂ヒ其代金ヲ以テ年七歩五厘利附ノ某起業債券ヲ額面百圓ニ付市價百十圓五十錢ニ買フトキハ六ヶ月間ノ所得ノ増減何程ナルカ

一四、英國ニ於ケル長サノ單位ノ名稱、相互ノ關係、及我邦ノ單位トノ比較ヲ記セ、

一五、清國北京城ハ東經百十六度二十三分四十五秒ナリ北京ノ午前四時ハ東京地方時ノ何時ナルカ但東京ハ東經約百三十九度四十五分ナリ

一六、一晝夜ニ十八分進ム時計ヲ今日正午ニ合セオキ後ニ此時計ガ午後九時ヲ指セルトキ再ビ之ヲ正シテ明日午前八時ニ正時ニ合ハシメントス幾分遅ラセオクベキカ

一七、三間ノ梯子ヲ或家ノ壁ニ架クルニ壁ヲ距ルコト五尺ノ地上ニ梯子ヲ据ウレバ正ニ其最上ノ窓ニ達ス此窓ノ高サヲ求ム、但寸未滿四捨五入セヨ

一八、十七里二十九町四十間ヲ二、四ニテ割レ(運算ヲ記入シ置クベシ)

一九、或人金三百二十五圓ヲ年利七分五厘ノ割ニテ銀行ニ預ケ前半年ノ利息ヲ收メテ更ニコレヲ預ケタリ今銀行ニ於テハ一圓未滿ノ金ハ利息ヲ附セズトシテ其年ノ後期ニ於ケル元利金合計如何

二〇、甲乙二地ノ間ヲ往復スルニ往路ニハ毎日平均十六里二十四町ヅ、歩ミ歸路ニハ十二里半ヅ、歩ミタルガタメニ歸路ニ費ヤセシ日數ハ往路ヨリモ二日多シト云フ二地ノ間ノ距離ヲ求ム

二一、年利八分ノ割合ヲ以テ四年間若干金ヲ貸セヨニ其元利合計ハ恰モ年利四分ノ割合ヲ以テ同年間三千五百圓ヲ貸シタルニ等シト云フ元金幾何

二三、馬ト牛トハカノ比2.3マシテ速キノ比ハ7.5 ナリトスルニ牛十二頭ヨクテ七頭ヨシテ
荷物ヲ馬九頭ヨクテ幾田間ヨシテ幾カ

二三、一升入水榭ノ内法ハ底ノ横縦各々四寸九分、深サ二寸七分ナリ、水一升ハ幾「リ」
トナルカ

二四、甲乙兩地間ニ時アリ今一旅人コシテ往復スルコトキハ七時十四分間ヲ要シ歸ル
トキハ六時六分間ヲ要ス問フ兩地ノ距離及時ノ頂ノアル所ハ如何、

但、上リハ一里ヲ五十五分間ニ、下リハ一里ヲ四十五分間ニ行クト云フ

二五、年利若干ノ複利コテ二百四十圓ノ金ガ三ヶ年間に二百七十七圓八十三錢ニ増殖セリ
ト云フ年利幾何ナルカ

二六、二ヶ月半後ニ四百圓、三ヶ月半後ニ二百圓、六ヶ月後ニ五百圓、七ヶ月後ニ九百圓
ヲ拂ヘ代リニ何時全額ナリ時ヲ拂ヘンキカ

◎代 數

一、 $(a+2b)a^2-(b+2a)b^2$ ヲ因數ニ分解セヨ

二、 $\frac{3x}{a-2} - \frac{4}{x+3} + \frac{4}{2-x} = 0$ ヲ解ケ

三、 $a^4-4a^2y+10a^2y^2-12ay^3+9y^4$ ノ平方根ヲ求ム

四、自轉車ヨ乘リテ鐵道線路ニ沿ヒ甲地ヨリ乙地ニ至ラントスル人アリ或速度ヲ以テ40哩
行キタル後速度ヲ一時間ニ付2哩ヅ、速メラテ目的地ニ達セリ此人若シ初ヨリソ
速度ヲ以テ走リタラシヨハ四十分早ク又始終初メノ速度ヲ以テ行キタラシヨハ二十分
時遅ク到着スルナラントス甲乙兩地間ノ距離及時ノ速度一時間幾哩ナラシカ

五、 x^4+x^2+1 ヲ因數ニ分解セヨ

六、 $\frac{x}{x+2y} - \frac{y}{2y-x} - \frac{(x-y)^2}{x^2-4y^2}$ ヲ簡單ニセヨ

七、 $\frac{7}{a-9} - \frac{11}{a-4} = \frac{7}{a+2} - \frac{11}{a+3}$ ノ根ヲ求ム

八、 $100a^2+60a+m=0$ ナル方程式ノ一ツノ根ガ他ノ根ノ二倍ナルヤヤニシテ値ヲ定ム

九、長サハ幅ヨリ8尺メク長キ教室ノ四壁ノ面積1120平方尺アリ若シ高サガ實際ヨリ四尺
メク餘計ニ高カンナラシヨハ小サキ方ノ二壁ト大ナル方ノ一壁トヨクテ丁度1120平方
尺ノ面積ヲ有スルナラント云フ此教室ノ長、幅、高ヲ求ム

一〇、次ノ式ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{a^2}{(a-b)(a-c)} + \frac{b^2}{(b-a)(b-c)} + \frac{c^2}{(c-a)(c-b)}$$

一一、次ノ方程式ヲ解ケ

$$\frac{ma-a-b}{na-c-d} = \frac{ma-a-c}{na-b-d}$$

二、二次方程式 $ax^2+bx+c=0$ の根が實數、實數コレテ等根、及虛數ナルガ爲ニ必要コレテ且充分ナル條件ヲ問フ

三、 $A+B(x+2)+C(x+2)^2$ ヲ簡單ニヌメトキハ $1+2x^2$ トナルトイフ A、B、C、ノ値各幾何ナルカ但 A、B、C、ハ皆正ヲ含マザルモノトス

四、七圓二十錢ヲ買ヒ得ルキ上米ト下米トノ分量ノ差五升ナリ若シ一升ノ代價兩種トモ二錢騰貴セバ此差ハ四升トナルニシテイフ上米及下米一升ノ價各幾許

五、一ニ始ル若干ノ連續セル奇數ノ和ハ平方數ナルコトヲ證明セヨ

六、 $a^2(b-c)+b^2(c-a)+c^2(a-b)$ ヲ因數ニ分解セヨ

七、一哩ノ競走ニ於テ甲ハ乙ヨリ十碼ノ先發ヲ與ヘテ三十分秒勝チタリ又第二回ノ競走ニ於テ甲ハ乙ヨリ三十分秒ノ先發ヲ與ヘテ九碼十一分ノ五勝ヲマケテ各毎時ノ速ヲ問フ

八、 $\frac{2a^2-3}{a-2} + \frac{a^2-6a+8}{a-2} = \frac{a-2}{a-3}$ ヲ解ケ

九、 $ab=acd=ef$ ナルトキハ $2a^2+3c^2-5e^2+2b^2+3d^2-5f^2=ae:bf$

二〇、甲乙二人アリ同時ニ出發シテ百五十里隔リタル所ニ自轉車旅行チナスニ甲ハ乙ヨリ毎時三里速ク進ム故ニ八時二十分間ダケ早ク着セリト云フ問フ二人毎時ノ速度如何

二一、甲乙兩人ノ所持金合計四十圓ナリ甲ガ乙ヨリ十圓貴ヒ受ケタル後甲ノ所持金ハ乙ノ所持金ヨリ六圓ダケ多クナルト云フ最初甲乙ハ各幾何ノ金ヲ有セシカ

二三、 $a^2+4bx+4b^2x^2 : 4b^2x^2-4bx+a^2$ ヲ乘セヨ

$$\frac{2x+3y}{5} = 10 - \frac{y}{3}$$

$$\frac{4y-3x}{6} = \frac{3x}{4} + 1$$

左ノ聯立方程式ヲ解ケ

二四、 $(x+y)^2+2(x+y)z+z^2$ ヲ因數ニ分解セヨ

◎幾 何

- 一、二ツノ三角形ノ三邊相等シキキハ此二ツノ三角形ハ全ク相等シ
- 二、同シ月形ニ於テノ角ハ相等シ
- 三、二等邊直角三角形ノ高サハ底邊ノ半分ナリ
- 四、平行四邊形ノ面積ハ之ト同底同高ノ矩形ノ面積ニ等シ
- 五、鈍角三角形ニ於テ其鈍角ノ對邊上ノ正方形ハ他ノ二邊ノ上ノ正方形ノ和ヨリ大ナルト其一邊ト其上ニ於ケル他ノ邊ノ正射影トニテ包ム矩形ノ二倍ナリ
- 六、三角形ノ外接圓ノ周上ノ任意ノ點ヨリ三ツノ邊或ハ其延長ヘ引ケル垂線ノ足ハ一直線

- 上ニアリ
- 七、一ツノ三角形ノ三ツノ角ガ夫々一ツノ他ノ三角形ノ三ツノ角ニ等シケレバ一ツノ三角形ハ相似形ナリ
- 八、相似三角形ノ比ハ其對應邊ノ二乗比ニ等シ
- 九、圓外ノ定點ヨリ割線ヲ引キ圓内ノ部分ト圓外ノ部分トヲ等シカラシメヨ
- 一〇、直角三角形ノ斜邊ノ上ノ正方形ハ他ノ二邊ノ上ノ正方形ノ和ニ等シ
- 一一、一ツノ線ガ一ツノ要件ニ適スル點ノ軌跡ナルヲ確定スルニハ如何ナル聯屬シタル定理ヲ證明スルヲ必要ニシテ且充分ナルカ
- 一二、梯形ハ其二ツノ平行ナル邊ノ和ノ半分ニ等シキ底邊及ヒ此二邊ノ距離ニ等シキ高サノ矩形ニ等シ
- 一三、二ツノ邊及第三邊ヘノ中線ヲ與ヘテ三角形ヲ作ルヲ求ム
- 一四、二ツノ三角形或ハ平行四邊形ノ比ハ其底邊及高サノ比ノ相乗比ニ等シ
- 一五、三角形ノ二邊ノ和ハ他ノ一邊ヨリ大ナリ
- 一六、三角形ノ三ツノ邊ガ相等シケレバ三ツノ角モ相等シ
- 一七、與ヘラレタル圓ノ中心ヲ求メヨ
- 一八、三角形ノ銳角ニ對スル邊ノ上ノ正方形ハ他ノ二邊ノ上ノ正方形ノ和ト比較シテ其大

- 小ノ關係如何且其理由ヲ證明セヨ
- 一九、三角形ABCノ底邊BC上ノ任意ノ點Dヲトレバ三角形ABD ACDノ外接圓ノ直徑ノ比ハAB ACノ比ニ等シキヲ證明セヨ
- 二〇、凸多面角ノ面角ノ和ハ四直角ヨリ小ナルヲ證明セヨ
- 二一、三角形ABCニ於テB角ガC角ニ等シケレバAB邊ハAC邊ニ等シキヲ證明セヨ
- 二二、圓外ノ點ヨリ之ニ切線ヲ引ク方法ヲ述ベ且ツ之ヲ證明セヨ
- 二三、平行四邊形ハ之ト同底同高ノ矩形ニ等シキヲ證明セヨ

◎理 科 (物理、化學、理科、生理、博物、礦物、動物、植物)

◎物 理

- 一、顯微鏡ノ構造ヲ圖示シテ説明セヨ
- 二、ブレンセン電池、重クロム酸電池ノ構造ヲ問フ
- 三、水ヨリ重キ固体、及水ヨリ輕キ固体ノ比重測定法ヲ問フ
- 四、最高寒暖計、最低寒暖計ノ構造ヲ問フ
- 五、冬着ニ綿ヲ入ル、理ヲ説明セヨ
- 六、水準器(泡準器)ノ構造ヲ説明セヨ

- 七、電鈴ノ構造ヲ圖示シテ説明セヨ
- 八、晴雨計ヲ説明セヨ
- 九、太陽スペクトル中ノ暗線ヲ説明セヨ
- 一〇、感應コイルノ構造ト作用トヲ述ベヨ
- 一一、摩擦コツキ知ル所ヲ述ベヨ
- 一二、エチルギーンノ保存トハ何ゾヤ
- 一三、ボイルノ定律及ビシャルノ定律ヲ述ベヨ
- 一四、石油ランプノ光ニテ白色ト黄色トヲ區別シ能ハザルハ何故カ
- 一五、進行中ノ汽車ヨリ飛び降りタル片ハ如何ナル結果ヲ生ズルカ
- 一六、音ノ高サ、強サ、及ビ音色トハ何ゾヤ
- 一七、電信機ヲ説明セヨ
- 一八、斜面ニ平行セル力ヲ以テ物体ヲ押シ上ケル場合ニハ物体ノ重サニ對シ如何ナル割合ノ力ヲ要スベキカ
- 一九、凸れんすノ正軸上ニ於テ發光点ヲ無窮大ノ距離アリれんすニ近クルニ從ヒ其焦点ノ位置ハ如何ニ變ズルカ
- 二〇、百度ノ熱湯五百瓦中ニ〇度ノ氷塊百瓦ヲ投ズル片ハ其結果如何

◎化學

- 一、硝酸ノ製法及性質ヲ問フ
- 二、次ノ場合ニ起ル化學變化ヲ問フ
 - 甲、膽礬ノ溶液中ニ鉄片ヲ入ル、片
 - 乙、炭酸瓦斯ヲ石灰水中ニ通ズル片
 - 丙、食鹽ニ硫酸ヲ加ヘテ熱スル片
- 三、潮解、還元、解離、分子量ノ意義ヲ問フ
- 四、石鹼ノ製法ヲ問フ
- 五、鹽素ノ製法及性質ヲ述ベヨ
- 六、次ノ場合ニ起ル化學變化ヲ問フ
 - 甲、亞鉛ニ稀硫酸ヲ注グ片
 - 乙、硫黃ヲ空氣中ニテ燃ヤス片
 - 丙、ナトリウム(ソヂウム)水ニ投ズル片
- 七、湯垢ノ生スル理由ヲ説明セヨ
- 八、定比例ノ定律ヲ述ベヨ
- 九、食鹽ノ水溶液ニ電流ヲ通ズル片ハ如何ナル變化ヲ起スカ

- 一〇、電離トハ如何
- 一一、アルミニウムノ製法性質及用途ヲ述ベヨ
- 一二、石鹼ノ製法ト其洗滌作用トヲ述ベヨ
- 一三、化合、分解、中和ノ意義ヲ記セ
- 一四、物質不滅ノ法則ヲ述ベ且ツ之ヲ証明スル實驗法ヲ記セ
- 一五、左記ノ場合ニ於ケル化學方程式ヲ記セ
 - イ、亞鉛ニ稀硫酸ヲ注ギタル時
 - ロ、炭化カルシウムヲ水ニ投ゴタル時
- 一六、石炭瓦斯ノ製法、性質、及用途ヲ述ベヨ
- 一七、左記物質ニツキ知ル所ヲ記セ
 - グリセリン 醋酸 ニトロセルロース エボナイト
- 一八、質量不變ノ定律ヲ説明セヨ
- 一九、電離說ニヨリ中和ノ現象ヲ説明セヨ
- 二〇、鉄ノ冶金法ノ大要ヲ述ベヨ
- 二一、石炭タールヨリ直接ニ得ベキ重ナルモノヲ擧ゲ其性質ヲ述ベヨ
- 二二、水ヨリ輕キ物体ノ比重ヲ計ルニハ如何ニスベキカ

- 二三、河底ノ淺ク見ユル理如何
- 二四、電話機ノ原理ヲ述ベヨ
- 二五、炭酸瓦斯ノ製造法及性質ヲ述ベヨ
- 二六、左ニ付テ知ル處ヲ記セ
 - 酒精 糊精 セルロイド アルカロイド

◎生理

- 一、澱粉ノ消化作用ヲ説明セヨ
- 二、血液ノ生理的作用ヲ説明セヨ
- 三、速ニ落下スル物体ガ線狀ニ見ユル理ヲ説明セヨ
- 四、内耳ノ構造ヲ説明セヨ
- 五、肝臟ノ機能ヲ説明セヨ
- 六、小學校兒童ノ姿勢ヲ正シシ保タシムルノ必要ハ如何ナル理由ニ基クカ
- 七、冷水浴ノ必要ナル所以ヲ説明セヨ
- 八、淋巴ノ作用ヲ説明セヨ
- 九、音ヲ知覺スル順序ヲ詳記セヨ
- 一〇、呼吸運動ヲ説明セヨ

- 一、腎臟ノ排泄作用ヲ詳記セヨ
- 二、血液ニ付キ知レル所ヲ説明セヨ
- 三、血清療法トハ如何ナルモノカ
- 四、上肢骨ノ名稱及ヒ其數ヲ示セ
- 五、胃、肝臟、脾臟ノ消化機能ヲ説明セヨ
- 六、交感神經トハ如何
- 七、内耳ノ構造ヲ説明セヨ
- 八、皮膚ノ構造ヲ精細ニ描キ各部ニ名稱ヲ附セヨ

●博物

- 一、高等小學校第一、二學年兒童ニ教授スベキ者ニテ左ノ題目ニヨリ出來得ルモノヲ各方面ヨリ其ノ教授事項ヲ詳細ニ説明セヨ
- イ、たんぼば
- ロ、猫
- 二、製紙ノ方法ノ大畧ヲ説明セヨ
- 三、珊瑚ニ付テ知ル所ヲ記セ
- 四、黄金ノ性質及ヒ本邦ノ主ナル産地ヲ示セ

- 五、吾人が生活上ニ必要ナル食物ノ成分及ヒ分量ヲ示セ
- 六、左ノ食物ノ得失ヲ説明セヨ

牛乳 鶏卵 大豆 味噌 魚肉

●鑛物

- 一、花崗岩ト安山岩トノ相違ヲ説明セヨ
- 二、左ノ鑛物ニ付キ知ル所ヲ記セ
- 長石 氷洲石 輝アノチモ一 石墨
- 三、蛇紋岩ノ生成ヲ説明セヨ
- 四、左ノ地質時代ハ如何
- 石炭ノ最も多ク生成セシ時代 人類ノ初メテ現出セシ時代
- 本邦火山ノ最も烈シク噴出セシ時代
- 五、土壤ノ成生スル由來ヲ説明セヨ
- 六、實例ニヨリテ條痕及ヒ硬度ノ鑛物鑑定上ニ必要ナル所以ヲ説明セヨ
- 七、深造岩ト火山岩トノ區別ヲ説明シ且ツ其ノ例一二三ヲ示セ
- 八、硯石及ヒ砥石ノ用材トスル岩石ヲ示セ
- 九、石炭ノ成因ヲ説明シ且ツ其ノ最も多ク成生セシ地質時代ヲ示セ

- 一〇、左ノ岩石ヲ列舉セヨ
イ、硯材 ロ、建築用材 ハ、砥石
- 一一、受験員ハ各自ニ其郡内ニアル岩石ヲ列舉セヨ
- 一二、左ノ金属ヲ採ル普通ナル鑛石ヲ示セ
銀 銅 鐵 錫 鉛 亞鉛
- 一三、セメントノ製法ヲ説明セヨ
- 一四、瑪瑙ノ出來方ヲ説明セヨ
- 一五、雲母ノ性質及ビ用途ヲ問フ
- 一六、水晶ト黃玉トノ區別ヲ示セ
- 一七、現今世上ニ流行スル寶石ノ主ナルモノハ何カ
- 一八、片麻岩ト花崗岩トヲ比較セヨ

◎動物

- 一、高等小學校第一、二學年兒童ニ教授スベキ考コテ蚊ト云フ題目ヲ以テ其ノ教授事項ヲ
(形態、習性、其他各方面ヨリ)詳細ニ記述セヨ
- 二、左ノ動物ニ付キ知ル所ヲ記セ
ざうりむし うみまつ かいがらむし 寄生蜂 かものばし

- 三、自然淘汰トハ如何
- 四、雀、鳩、トリノ雛ハ鷄ノ雛ニ比シテ其ノ發育不完全ナルハ何故ナリヤ
- 五、左ノ動物ノ分類上ノ位置如何
アミトバ サソバ ミ、ズ ナマコ ホーヅキガイ
- 六、生活ノ共存体ニ付キテ例ヲ舉ゲテ説明セヨ
- 七、高等動物ト下等動物トハ如何ナル点ヲ標準トスルカ
- 八、人体ニ不用器官ノ存在スル所以ヲ説明セヨ
- 九、ダーウイン氏ノ所謂生存競争トハ如何
- 一〇、もんしろ蝶ノ經過(卵ヨリ老成ニ至ルマデ)及ビ人生ニ對スル關係ヲ説明セヨ
- 一一、鳥類ノ骨格中特ニ哺乳類ノ骨格ト異ナル所ヲ述ベヨ
- 一二、本邦ニ普通ナル人體寄生蟲ノ名稱ト分類上ノ位置ヲ示セ
- 一三、だいちん、みかん、桑ノ害虫ヲ示セ
- 一四、本邦ニテ捕獲スルコトヲ禁ゼラレタル鳥類ヲ舉ゲヨ
- 一五、裂頭條蟲ノ生活、繁殖ノ順序ヲ説明セヨ
- 一六、節足動物ヲ分類シ各其ノ例二三ツ、ヲ示セ

◎植物

- 一、左ノ植物ハ何科ニ属スルカ
ウメ コーヅ タバコ 茶 キウリ
- 二、吾人ニ必要ナルパンチリヤニ付キテ知ル所ヲ記セ
- 三、シユロ(棕櫚)ノ莖ニ年輪ノ生ゼザル所以ヲ説明セヨ
- 四、左ノ植物ヲ各一二例ヅ、示セ
イ、雄蕊ガ花瓣ト同數ナルモノ
ロ、花蓋ヲ有スル植物
ハ、子房下位ナルモノ
ニ、綠色ナラザル植物
- 五、高等小學校第一、二學年兒童ニ教授スベキ考ヲ九んばばト云フ題目ヲ以テ其ノ教授事項ヲ(形態、生態其他各方面ヨリ)詳細ニ記述セヨ
- 六、左ノ植物ニ付キ知ル所ヲ記セ
さんぼうげ げんのしようこ へび てんぐさ 規那 たがらし
とりかぶと
- 七、植物体内ニ貯藏セラル、澱粉ノ生成ヲ説明セヨ
- 八、高等小學校ノ兒童ニ教授セントスル毒草、藥草ノ普通ナルモノヲ列舉セヨ併セテ其ノ植物ノ科名ヲ附記セヨ
- 九、さつまいもノ根ニ澱粉ノ出來ル順序ヲ詳記シ且ツ其ノ澱粉ナルコトヲ証明スル方法ヲ

示セ

- 一〇、日本紙ノ製造法ヲ説明セヨ
- 一一、毎年四月、五月頃野外ニ開花スル荳科、十字科ノ植物ヲ知レルダケ列舉セヨ
- 一二、雙子葉植物莖ノ構造ヲ圖解セヨ
- 一三、裸子植物トハ如何且ツ其ノ主ナル科名及ビ實例ヲ示セ
- 一四、栗ノ果實ト種子ノ構造ヲ説明セヨ
- 一五、野外ニ普通ナル毒草及ビ藥草ノ種類ヲ舉ゲテ其ノ科名及ビ開花ノ期節ヲ示セ
- 一六、呼吸作用ト同化作用トノ差異ヲ比較セヨ

◎音 樂 科

理論

(1)

以上二種ノ調子ハ何調ナルカ

(2)

以上各音符ノ名稱ヲ記セ

九五

唱歌 農夫 (唱歌教科書第二卷)
 樂器使用 朋友 (唱歌教科書第二卷)
 理論

(1) 1.1.776065.33212-3.21.1.776065.33.21-0

右ノ曲ニ四分ノ四拍子ニ小節ノ縦線ヲ附セ

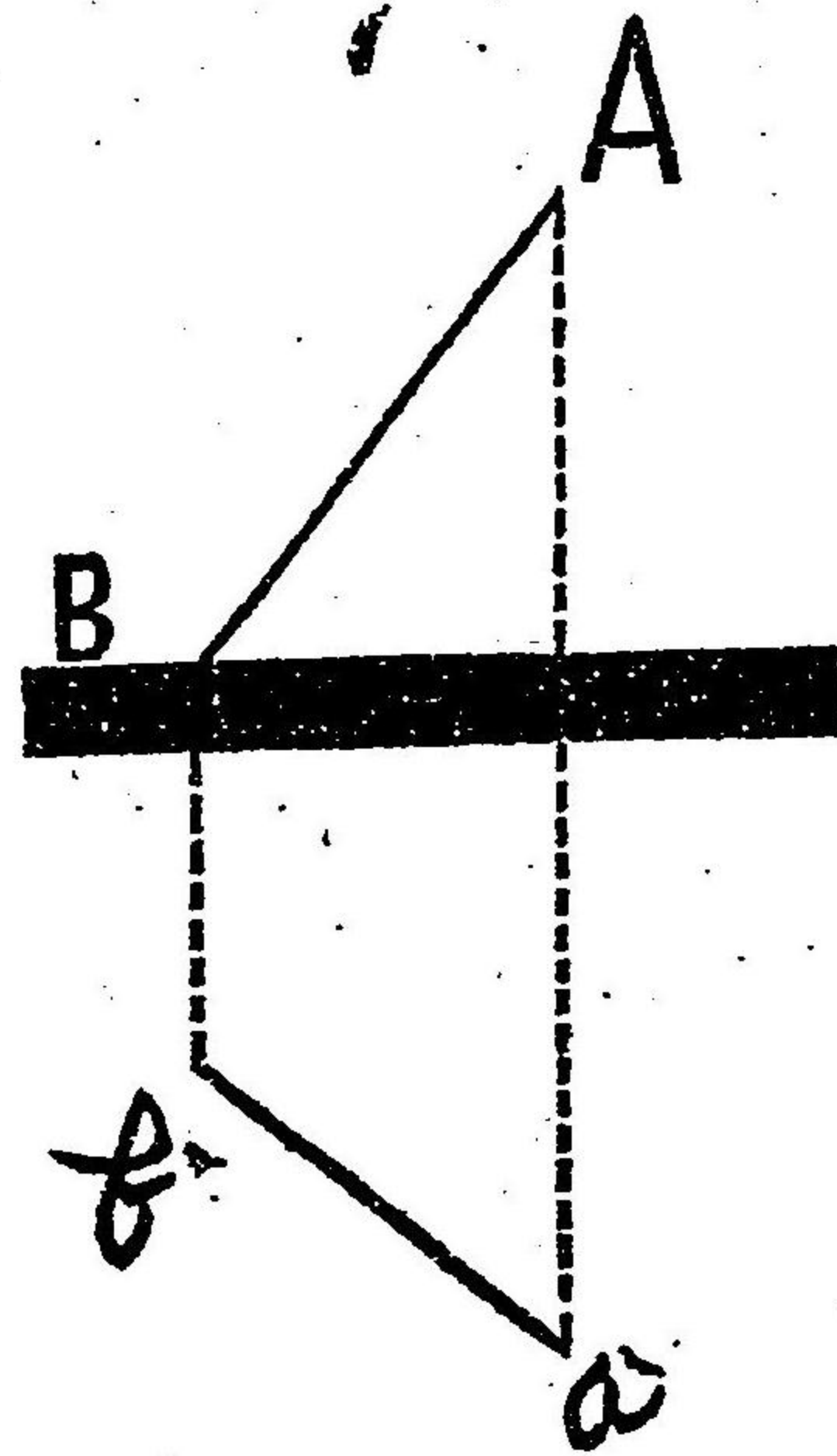
(2) 長音階中半音ノ音程ノ箇所ハ何音ト何音ノ間ナルカ

見渡せば (小學唱歌集初編) (略譜)

樂器 螢の光 (全 斷) (略譜)

◎圖畫科

- 一、朝顔ト蝶トヲ想像ニテ描ケ
- 二、右草花ト虫トヲ用ヒテ散らし模様ヲ考按セヨ
 但以上二題ハ毛筆畫ニシテ淡彩ヲ附スルヲ要ス
- 三、水平面上ニ直立スル正五角柱ノ遠近投影(透視畫)ヲ作レ
- 四、左圖ノ如ク投影セル投影圖アリ其直線ノ實際ノ長サ如何



以上三、四ノ二問ハ鉛筆ニテ製圖シ簡單ナル説明ヲ附スルヲ要ス

五、煙草盆ヲ實寫シ之ニ陰影ヲ加フヘシ

六、左ノ物品ヲ記憶ニヨリテ描出セヨ

櫻花 太鼓 筍 提灯

七、尋常科ニ圖畫ヲ課スヘキ理由ヲ述ベ其教授ノ方法ヲ畧記セヨ

◎体操科

- 一、徒手体操
 体操教範第一部中ノ一、二運動ノ號令ヲ交互ニ執ラシム

二、各個教練

不動姿勢 右左向ケ

行進

行進間右轉回

駢步中

左右轉向

三、小隊教練

整頓 方向變換

行進

同方向ニ側面縱隊

伍ノ方向變換

右左向ケ停止

四、体操準備

整頓 番號

排列(大間隔)

五、各個演習

直立二步前進轉向、二步後進轉向

屈臂

一臂前伸

左右交換、後、兩臂側伸

步狀(一) 立 上体ノ前後屈

十字形(三) 舉脚(一) 立 一脚半屈膝

足踏二步、跳躍轉回(百八十度)

六、連續演習(徒手第一)

七、球竿体操(第一)

八、体操準備

整頓 番號

右(左)轉向

右(左)轉回

行進

停止

行進間ニ於ケル轉

向及轉回 橫隊ノ方向變換

九、各個演習

小(大)間隔橫隊

直立 轉向一步側進、一步側進轉向

上屈臂、一臂上伸一臂側伸、直立 左右交換兩臂前伸

十字形(二)、臂ノ上舉及、直立 上体ノ前屈

十字形(一)、上体ノ側屈 步狀(三) 直立

下翼、足ノ前、側、後出、直立 舉踵半屈膝

一〇、徒手体操第一(連續)

一一、球竿体操第一(連續)第十一節マテ

一二、体操準備

集合 整頓

分別

排列

一三、美容術

各節

一四、亞鈴体操

下翼開脚、頭ノ後屈 直立

上翼舉脚(一)、一脚屈膝 直立

上屈臂閉足、臂ノ上伸 後屈直立

下翼、百八十度、直立 轉回跳躍

第一節ヨリ第十二節マデ

一五、球竿体操

第一節ヨリ第十二節マデ

◎裁縫科

(教授法、積方、縫方)

◎教授法

一、普通織物染物の名稱産地等を教授する際聯絡ある他學科の名稱を擧げ且つ聯絡の方法につきて知れるところを記すべし

二、小學校に於ける裁縫教授の目的を問ふ

◎積方

一、一尺六寸幅にて女袷羽織表を裁つに身丈二尺六寸五分の仕立上とせば用布如何程なるか
二、巾一尺丈ケ一丈四尺の布を以て三ツ身羽織表裏の積り方を問ふ

◎裁方

一、五寸五分幅の紙七尺にて三ツ身衣服を裁つべし
二、與ふるところの用紙にて中裁女袴を裁つべし

◎縫方

一、白キヤラコにて一寸祝の襟左右を縫ふべし

但し一尺巾にて二尺の長さのものを用ふ

二、與ふるところの用布にて四五歳の小兒に着せしむべき改良前掛一枚をつくれ
但雛形とす

◎簿記科

一、日記帳、仕譯帳、元帳ノ性質及此等帳簿ノ記入ノ順序ヲ説明セヨ

二、左ノ取引ヲ仕譯セヨ

イ、借地料拾貳圓現金ニテ河内屋ヨリ受取ル

ロ、越後屋ヨリ商品ヲ買入レ代金五百圓ノ内四百圓現金ハテ仕拂ヒ殘額ヲ掛トス

ハ、平野商店ヨリ帽子十五打買入レ此代金四百五拾圓小切手ニテ仕拂フ

三、小切手、爲替手形ニ付テ知ル所ヲ記述セヨ

四、從來單式ニテ記帳シ來リタルヲ自今複式ニ換フル手續ヲ説明セヨ

五、左ノ取引ノ貸借仕譯ヲナセ

イ、高橋屋ヨリ七拾五圓ノ商品ヲ買入レ此ノ代金ヲ第一銀行小切手ニテ仕拂フ

ロ、吉川孝吉へ貸渡シタル元金七百圓及日步貳錢五厘ニテ明治四十一年一月二十五日

ヨリ同年五月十五日マテノ利息悉皆全入振出、三井銀行支拂ノ小切手ヲ受取ル
 ハ、明治四十年七月十五日付テ以テ小川松吉ヨリ振出シタル大山竹藏受取當店仕拂ノ
 爲替手形額面八拾五圓滿期日同年十一月三十日ノモノ大山竹藏ノ請求ヨリ同年
 九月二十八日ニ於テ日歩貳錢參厘ニテ割引ナシテ仕拂フ
 六、試算表、棚卸表ノ雛形、作成方法、及其目的ヲ記セ
 七、簿記法上ノ用語、貸、借ノ意義如何
 八、試算表ニ於テ金銀、商品、資本ノ貸方ニ表ハシタル金額ハ夫々何ヲ表ハスカ
 九、明治三十八年四月中取引

- 一日 資本主福田龜松ヨリ資本金トシテ金壹千圓店方ニ受取ル
 - 四日 武藏屋ヨリ現金ニテ大豆六十石、石拾圓替ニテ買入ル
 - 七日 相摸屋ニ現金ニテ大豆四十石、石拾壹圓替ニテ賣渡ス
 - 十一日 伊豆屋ニ現金ニテ大豆二十石、石拾圓五拾錢替ニテ賣渡ス
 - 十九日 尾張屋ヨリ現金ニテ麥七十石、石七圓五拾錢替ニテ買入ル
 - 二十五日 三河屋ニ現金ニテ麥七十石、石八圓替ニテ賣渡ス
 - 三十日 本月分商店借家料八圓ヲ伊勢屋ニ仕拂フ
- 右ノ取引ヲ日記帳、仕譯帳、元帳ニ附ケ込ニ結算セヨ

- 一〇、有体價值、無体價值、混合價值ノ間ニ起ル交換ノ種類ヲ列舉セヨ
- 一一、簿記ニ於テ用ウル貸借ノ語ノ意義及其ノ適用ノ例ニ付キ知ル所ヲ記セ
- 一二、左ノ二件ノ貸借ヲ仕譯ケヨ
 イ、米穀商甲某乙某ヨリ五百圓ノ米ヲ買入レ之ニ對シ約束手形ヲ振出ス
 ロ、乙某甲某ニ對シ負債アリ爰ニ於テ甲某ガ乙某ヲ仕拂人トシ丙某ヲ受取人トシテ二
 百五十圓ノ爲替手形ヲ振出ス

一三、左ノ元帳ヲ結算スヘシ
 但シ朱書ヲ要スル所ニハ△印ヲ付スヘシ
 賣殘品ハ原價ニテ評價ス 結算ハ五月三十一日ニ行フモノトス
 (元 帳)

明治三十九年		貸		借		貸		借	
5	1	金	銀	出	仕	方	方	貸	借
							550000		
								550000	

金 銀

明治十九年	摘要	仕	借	方	貸	方	貸	借	差引	残
5	資本主		550000					550000		550000
"	商品				125000			425000		425000
"	營業費				7500			417500		417500

商 品

明治十九年	摘要	仕	借	方	貸	方	貸	借	差引	残
5	金 銀		125000					125000		125000
"	福島屋				70000			55000		55000

福 島 屋

明治十九年	摘要	仕	借	方	貸	方	貸	借	差引	残
5	商 品		70000					70000		70000

管 業 費

明治十九年	摘要	仕	借	方	貸	方	貸	借	差引	残
5	金 銀		7500					7500		7500

◎家 事 科

一、小兒に初めて種痘を施すに適當なる年齢及時期を問ふ
 二、勞働する人と坐して腦神經を多く使用する人との適當なる食品
 一、三種のものが且つ其理

- 由を詳記すべし
- 三、中等生活程度に於ける家計簿記用諸帳簿の名稱をあげ且各帳簿に記入の方法を簡単に記載すべし
- 四、五月十三日より同月十九日まで一週間分の献立表をつくれ
- 五、家事を整理するに當り主婦の具ふべき資格を問ふ

第二節 小學校本科准教員

◎修身科

- 一、日本人ノ道德ニ就テ、其最モ優レタル所、及著シキ欠点ト思ハル、所ハ如何ナルモノナルカヲ詳述セヨ
- 二、知識ハ修徳上如何程ノ價值アリヤ
- 三、節制ノ意義ト價值トヲ問フ
- 四、「大器晚成」ノ眞義ヲ記セ
- 五、誠實ノ必要ナル所以ヲ述ベヨ
- 六、朋友ニ對スル心得ヲ述ベヨ

- 七、徳ヲ修ムルニ必要ナル心掛ケヲ述ベヨ
- 八、左ノ歌ノ教訓上ノ意味ヲ説明セヨ
ろこひなき淵やはさわく山川の淺き瀬にころわだなみはたて
- 九、誠實及勇氣ノ必要
- 一〇、教育者ガ其職務ヲ盡スニ如何ナル注意覺悟ヲ要スルカ
- 一一、子曰質勝レ文則野。文勝レ質則史。文質彬彬。然後君子。
右解釋セヨ
- 一二、教員ガ同僚ノ名譽ヲ尊重スル必要並ニソノ仕方ヲ記セ
- 一三、物品ノ贈答ノ心得ヲ記セ
- 一四、貧民ヲ救助スル最良ノ仕方ヲ問フ
- 一五、兄弟ニ友ニスルコトガ何故ニ父母ニ孝トナルカ

◎教科

- 一、直觀教授ノ目的ヲ述ベヨ
- 二、綴リ方ト書取及ヒ暗誦トノ關係ヲ述ベヨ
- 三、算術科數ヘ方ニツイテ述ベヨ

- 四、理科ノ事實、分類及ビ法則ヲ授ケル場合ニツイテ述ベヨ
- 五、尋常小學校第一學年算術科「一ツ二ツト唱フル數ヘ方」教授案ヲ作レ
- 六、算術問題ノ提出法ニツイテ述ベヨ
- 七、修身教授上諸徳ノ配當ニツイテ述ベヨ
- 八、算術ノ初步教授ニ於テハ如何ナル方法ヲトルベキカ
- 九、國語教授上句讀ニツキテ述ベヨ

一〇、日本歴史卷四明治昭代ノ内政中ニ教育、産業、交通等現時ノ文明ニ關スル記事ヲ缺ケル理由

- 一一、教授上復習ノ目的及之ヲ行フニ當リ遵奉スベキ緊要ナル條件如何
- 一二、小數ヲ法トスル除法ヲ初メテ教フル時ノ教案ヲ作レ
- 一三、理科ニ於テ晝夜ニ長短ヲ生スル理ヲ教授スル時ノ教案ヲ作レ

◎國語科 (讀、作文)

◎講讀

一、左ノ文章ノ解釋

あはれ、國破れて山河ありといひけむ、世にとどまりさし太守の殿閣、すでに跡方もな

くなりて、遺愛の樹木空しくさかぬ。松風よなく玉琴の絲に通ひて、木蘭の舟常に幾隊の雅客を載せけむ、うのかみの豪華一炊の夢に歸して、烟波なほ愁を含めるに、短籬を隔てたる幾宇の聖壁、呻吟の聲にうづもれて、茲に二豎に苦しめらるる者い

二、左ノ文章ノ解釋

1、黄昏は夕煙斜なる山本の村より湧きて、半時にして地は茫々たり。

2、内外其の風景を想望す。

3、聲容盛にして武備衰へ議論多くして成功少し。

三、左ノ文章ヲ解釋スベシ。(傍線アル字ニハ振假名ヲ附スベシ)
 單獨自立的の意力ありて共同一般的思想なく、人これを是といふも以つて是となさず。人これを非といふも以つて非となさず。奇氣稜稜として社會の外に逸し、高情超然として宇宙の表に立ち、興論の淺薄を嘲笑し物議の顛倒を罵倒する者、これを畸人といふ。畸人の世に處る、未決して事を立て功を成すこと能はず。單獨孤昂悲憤慷慨して以つて世を單ふ。

四、左ノ語句ヲ解釋セヨ

1、流動資本

2、後天の氣質

3、夜もすがら

6、廻瀾を既倒に翻るひです

4、いかで情なくうち奉らむ 5、特徴
7、何にかは驚きたりけむ、水鳥飛び立ちぬ

五、左ノ誤字ヲ正セ

熟生を養成す

外國の形聲に通ず

卒業成績

志士の就ひてれしへを請うもの多し

六、左ノ文章ヲ解釋スベシ。(但シ傍線アルトコロハ特ニ詳解スベシ)

ソクテテースは慨然として、時弊の救済を以つて自ら任じ、盛に道を講じ理を談じ、諄々として倦まず、詭辯學者の輩に遇へば、則ち其の獨得の論法を以つて辯難攻撃して、一步も假借せず、侃諤の正義、其の稀代の雄辯と相伴ひて、一世を風靡せり。

七、左ノ文章ヲ解釋スベシ

たどるく／＼浦の方へゆく程に、夜もはや次第に明け離れて、忍ぶべき道もなければ、身を隠さむとて日を暮し、麻や蓬の生ひ茂りたる中に、隠れ居たれば、追手共と覺はしき者共、百四五十駿馳せ散つて、若し十二三ばかりなる見や通りつると、道に行き合ふ人毎に問ひて予過ぎゆきける。

八、埋没乾涸の合併作用によりて湖水は漸く其の深さを減じ竟には曾て激澗たる漣漪を湛へしものも沮洳たる沼池となり唯隱泉又は浚渫より出來たる潞瀆の點々として此處彼

處に見ゆるに至る。

右傍線ヲ施セル語句ヲヌキ出シテ讀方意義ヲ記シ全文ヲ通解スベシ

九、八月の十日あまり六日にや秋霧にれかさ給ひてかくれまし／＼ぬとぞ聞ゆし寝ぬるが中なる夢の世は今に始めぬならひとは知りながらかつかの目の前なる心地して老の涙もかさあへぬば筆の跡さへ滞りぬ。

右傍線ヲ施セル語句ヲ詳解シ全文ヲ通解スベシ

◎作 文

- 一、日本三景 (普通文)
- 二、洋服を注文する文 (書翰文)
- 三、吾が地方の産物 (普通文體)
- 四、同行を頼む文 (口語文體)
- 五、修學旅行 (普通文)
- 六、朝鮮に行く人を送る文 (口語文)
- 七、理想 (普通文)
- 八、同僚たりし人の他校に轉任せしに送る文 (手紙文)

◎習 字

學 不 厭
 教 不 倦

右楷行一體ニ書ス

白石ハ峻嚴ニシテ秋霜ノ如ク
 宣長ハ温厚ニシテ春風ノ如ク
 故ニ一ハ廟堂ニ立テ堂々ノ議ヲナシテ君ノ忌諱ニ
 觸ル、ナ辭セズ一ハ世外ニ
 庵ヲ結ビ鈴ヲ鳴ラシテ從容
 自適ス

右楷書ト片假名トナ以テ書ス

清明の雨に新緑も一層色を
 了へ候折から愈御壯康奉賀
 候さて家園の新茶昨今始め
 て出来仕候間些少ながら小
 包に託し御ねくり申上候日
 永の御入れかへにもなし下
 され候はゞ本懐の至りに候
 敬具

右用紙ヲ横ニシテ行書又ハ草書
 ニ平假名ヲ交ヘテ書スベシ

朝 四 暮 三

右楷行草ノ三体ニ認ムベシ

行 義 達 其 道

右用紙縦ニ行ニ各楷行ニ書スベシ

事 必 有 處
 而 後 可 成

右楷、行ニ一體ニ書セヨ

用 紙 横
 ひかしの人のしをりせしあ
 とをも認めてわけ行かばふ
 みのはやしのもろのれくには
 まれの花もにはふらむ

右行書ト平假名トニテ書セ

◎地理科

- 一、本邦ノ主要ナル山脈系統ヲ記セ
- 二、本邦ノ重要輸出品ヲ舉ゲテ其主産地方ヲ記セ
- 三、韓國ノ開港場ヲ舉ゲテ其所在地ヲ示セ
- 四、支那本部十八省ノ名稱ヲ舉ゲヨ
- 五、左記ノ所在地及ヒ其著シキコトヲ記セ
 - 人吉
 - 開平
 - 新義州
 - ヒラアルヒヤ
 - 西郷港
 - ハリフアクス
 - 武昌
 - カイロ
 - 長岡
 - ハンブルク
- 六、官立學校ト公立學校トノ區別ヲ説明セヨ
- 七、本邦ノ石炭産地ノ著シキモノヲ舉ゲヨ
- 八、本邦ト韓國トノ政治上ノ關係ノ主要ナルモノヲ述ベヨ
- 九、左記ノ所在地及ヒ其著シキコトヲ記セ
 - 川俣
 - 柏崎
 - 留萌
 - 人吉
 - 吳淞
 - 開平
 - セバストボル
 - オタワ
 - バナマ
 - ラングン
- 一〇、左記ノ品物ハ如何ナルモノナルカ其用途及ヒ産地ヲ併セ記セ

アチナス 樟腦 花蕊 奉書紬 牛駱

- 一一、近畿地方ニ於ケル主要ノ鐵道ヲ問フ
- 一二、支那ノ地勢ヲ述ベヨ
- 一三、日本郵船會社歐洲航路ノ寄港地ヲ問フ
- 一四、長崎縣ノ海岸線ヲ描ケ
- 一五、數多ノ鐵道線東京ヲ中心トシテ四方ニ射出セル模様ヲ畧圖ヨテ示セ
- 一六、琉球ノ風俗ヲ問フ
- 一七、世界ニ於ケル米ノ産地ヲ問フ
- 一八、本邦ノ主ナル輸出品並ニソノ販路ヲ記セ

◎歴史科

- 一、推古時代建築物ノ現存セルモノニツキテ叙セヨ
- 二、武家政治トハ何カ
- 三、倭寇ノ顛末ヲ問フ
- 四、明治時代ニ於ケル日英ノ關係ヲ叙セヨ
- 五、高天原トハ何カ

- 六、聖武天皇崇佛ノ御事蹟ヲ述ヘヨ
- 七、左ノ事柄ヲ述ヘヨ
- 八、鎌倉幕府ノ創立ヲ述ヘヨ
- 九、支那ト交通ノ初メヲ述ヘヨ
- 一〇、足利尊氏ノ謀反ヲ述ヘヨ
- 一一、徳川吉宗ノ治績ヲ問フ

文永ノ役

外様ト譜代ノ別

◎算術科

(珠算)

◎珠算

- 一、一反二圓三十錢ノ糸織一丈六尺五寸ヲ買ハントス問フ一反ノ長キ二丈七尺五寸トセバ金何程ヲ要スルカ
- 二、イ 354.2 × 645 ノ値ヲ求ム
ロ 35.68708 ÷ 4882 ノ値ヲ求ム
- 三、18.537 ヲ複名數ニ化セヨ
- 四、英國貨幣ノ「ポンド」ハ我貨幣九圓七十六錢三厘ニ當リ北米合衆國ノ一弗ハ我二圓六

厘ニ當ルトスノハ英國ノ「ポンド」ハ米國ノ幾弗ニ當ルカ (小數第三位未滿四捨五入セヨ)

- 五、一反ニ付賣價四圓二十三錢ノ反物アリ今之ヲ一割二步五厘引ニテ賣拂フトキハ尙原價ニ對シ一割二步五厘ノ利益アリトイフ原價如何
- 六、立坪二坪半ノ土ヲ長サ百八十尺巾四尺ノ小路ニ敷ケリ土ノ厚サ幾寸ナルカ
- 七、東京新橋、京都間ノ鐵道哩程ハ三二八。一哩ナリ、一哩ヲ〇、四〇九八里トシテ之ヲ里町間ニ直セ (間未滿切り捨テヨ)
- 八、乘法、除法、ニ於ケル積、商ノ位取リハ如何ニシテ定ムルカ
- 九、年六分ノ利率ニテ四月十八日ヨリ同年六月三十日迄金九百六十五圓ヲ貸付クルルキハ其利息幾許トナルカ
- 一〇、三百六十五日五時四十八分四十六秒ヲ三百六十ニテ除セヨ
- 一一、564.502 × 3.8 + 4.24 × 756 - 24.8 × 0.2254 ノ値ヲ求ム
- 一二、119.51049 ÷ 0.24805 ノ値ヲ求ム
- 一三、(381674382) × 37. ノ値ヲ求ム
- 一四、一石十四圓五十八錢ノ米五石四斗六升ノ代リニ一石八圓四錢ノ麥九石三斗五合ヲ受取ルトキハ損益幾何ナルカ

一五、年利四分七厘四毛元金三千八百四十圓七ヶ月間ノ利子幾何

一一八

◎筆算

- 一、鉛筆若干本ヲ兒童若干人ニ分與スルニ其中ノ三人ニ四本ヅ、其余ノ兒童ニ三本ヅ、與フレバ九本余リ其中ノ一人ニ三本其他ノ兒童ニ五本ヅ、與フレバ過不足ナシトイフ鉛筆幾本、兒童幾人ナルカ
- 二、給料ハ時間ニ應ジテ支給セラレ、平常ハ毎日一定ノ時間働クベキ約束ニテ雇ハレタル労働者ガ七日ト居残り三時間ノ給料トシテ四圓十三錢、又六日ト居残り五時間トノ給料三圓七十一錢ヲ受取レリトイフ平常ノ一定ノ就業時間幾何
- 三、真鍮ハ銅ト亜鉛トノ合金ナリ今体積ニテ銅七、亜鉛六、ノ割合ニ合セテ製シタル真鍮一疋アリソノ中ノ銅亞鉛ノ重量ハ各何程カ但銅ノ比重ハ八、九亞鉛ノ比重ハ七、一ナリ
- 四、或人金二百四十圓ヲ年利一割ニテ借リ其後六ヶ月ヲ經テ更ニ四百八十圓ヲ年利八歩ニテ借リタリ然ルニ其後若干月ヲ經テ此兩額ノ借用ニ對シテ等額ノ利息ヲ支拂ヘリト云フ然ラバ其利息ヲ計算セルハ最初ヨリ幾月後ナリシカ
- 五、目方百分ノ二ノ鹽分ヲ含ム海水ヨリ水トシテ蒸發セシメナバ目方百分ノ十八ノ水分ヲ含ム鹽水ヲ得ベキカ
- 六、空氣中酸素ノ量ハ立積ニテ百分ノ二十一ヲ占ム然ルトキハ長三間幅二間高サ九尺ノ室

内ニハ幾何立方尺ノ酸素アルカ

- 七、毎月家賃十五圓ヲ出シテ借宅シタル人アリ此人金八百圓ヲ年利率九分ニテ借り之ニ所有金千五百圓ヲ加ヘテ邸宅ヲ買ヒ其家ニ千二百圓ノ火災保險ヲ附シ年々二分八厘ノ保險料ヲ拂ヘリ諸税及修繕等ニ年分八十圓ヲ要ストセバ此人ノ歲計ニ於テ幾何ノ變動ヲ生ゼシカ但以前ハ此人ノ所有金千五百圓ハ年利五分ヲ生ツツ、アリシモノトス
- 八、品位〇、九重量二六、九五七瓦ノ舊一圓銀貨千個ヲ品位〇、八重量二匁七分ノ五十錢銀貨ニ改鑄セントス鑄潰ノ減損ヲナキモノトシテ計算スルトキハ幾何瓦ノ參和銅ヲ加ヘテ幾ツノ五十錢銀貨ヲ得ベキカ
- 九、攝氏寒暖計ノ十度、零下二十五度ヲ華氏ノ度ニ直セ
- 一〇、甲村ヨリ乙村マデハ上リ路、乙村ヨリ丙村ヘハ下リ路ナリ人力車ニテ此間ヲ行クニ一時間ニ上リハ二里、下リハ三里ノ速サトシテ甲ヨリ丙ニ行クニハ六時間カ、丙ヨリ甲ニ歸ルニハ六時間半ヲ要ス、甲ヨリ乙マデ及乙ヨリ丙マデノ里程幾許
- 一一、貧民ニ米百八十石ヲ施サントテ人数ヲ調べタルニ男五十二人女六十五人小兒百八十八人アリ、分配ノ割合男五合ニ付女四合、女三合ニ付小兒二合ナリトスルトキハ男一人女一人小兒二人ノ家族ヲ有スル一家ニハ幾許ヲ與フベキカ
- 一二、内二割ハ外幾割ニ當ルカ、又外二割ハ内幾割ニ當ルカ

- 一三、帽一個ノ價上ハ四圓二十錢、中ハ三圓六十錢、下ハ二圓五十錢ナリ此三種ヲ取り交ゼ總計五十六個ヲ買ヒ代金二百圓ヲ拂ヒヨリ此中コテ上ハ下ヨリ九個多シ各幾個ヲ買ヒタルカ
- 一四、或家屋ノ火災保險金ハ時價ノ七割五歩コテ一ケ年保險料ノ歩合ハ六厘ナリ此家屋一ケ年内ニ全焼シタルコヨリ保險會社ハ四千六百二十二圓十錢ノ損失ヲナセリ此家屋ノ時價幾許ナルカ
- 一五、十七里二十九町四十間ヲ二、四コテ割レ(運算ヲ記入シ置クセシ)
- 一六、商人アリ初年ニ資本ノ六分ノ一ヲ利シ次年ニ其利益ノ五分ノ四ヲ損セヨタメ一千八百六十圓トナレリト云フ資本金幾何
- 一七、鶏卵二十個ヲ三十九錢ニ賣リテ三割ノ利益ヲ得タリト聞ク、元價ノ三割ト云フ意ナラバ一個ノ元價何程ナルカ、又賣價ノ三割ト云フ意ナラバ一個ノ元價如何程ナルカ
- 一八、三百六十五平方「メートル」ノ面積ヲ坪數ニテ表セ、但坪以下二位マデ正シク計算セヨ

一九、
$$\frac{2}{4} \times \frac{1}{3} \times \frac{10}{4} - \frac{4}{12} \times \frac{11}{2} \times \frac{3}{11} = \frac{1}{6} + \frac{7}{3} - \frac{1}{2} \times \frac{9}{11}$$

ナ管欄ニセヨ

◎理科 (物理、化學)

◎物理、化學

- 一、熱ノ對流ヲ説明セヨ
- 二、電鈴ノ構造ト作用トヲ述ベヨ
- 三、左記ノ物質ニツキ知ル所ヲ記セ
炭酸ソーダ 石墨
- 四、鐵ハ水ヨリ重シ然ルニ鐵艦ガ水上ニ浮ブハ何故カ
- 五、電氣磁石トハ何ツヤ且ツ之ヲ應用シタル機械ヲ列舉セヨ
- 六、左記ノ物質ニツキ知ル所ヲ記セ
食鹽 硝子 澱粉
- 七、飯ヲ炊ク釜ニ重キ蓋ヲ用フルハ何故カ
- 八、電信機ヲ説明セヨ
- 九、左記ノ物質ニツキ知ル所ヲ記セ
漂白粉 セルロイド 石鹼
- 一〇、錫ノ性質及用途ヲ述ベヨ

- 一一、鏡ニ映シタル像ハ實物ト左右相反スルハ何故カ
- 一二、れーでん儘ノ構造及ヒ其電氣ヲ溜メ得ル理ヲ問フ
- 一三、定比例ノ定律及ヒ倍數比例ノ定律ヲ説明セヨ

●博物

- 一、雙子葉植物莖ノ構造ヲ圖解セヨ
- 二、さんばうげ、さつねのぼたん、たがらしノ三者ヲ如何ニ識別スルカ
- 三、鼠ハ他ノ哺乳動物ト異ナリテ門齒ハ唯々僅カヨ二本ナルハ如何ナル所以ナルカ
- 四、鞘翅類(甲蟲)中ニテ益蟲、害蟲各五種ツ、ヲ擧ゲヨ
- 五、釋液ノ作用ヲ説明セヨ
- 六、水晶ト硝子ト夫如何ニシテ區別スルカ
- 七、人体ニ寄生シテ病原ヲナス動物ヲ知レル丈ケ列擧セヨ
- 八、現時(五月頃)路傍ニ自生セル十字花科、荳科、薔薇科植物ヲ知レル丈ケ列擧セヨ
- 九、桃ノ果實ト梨ノ果實トヲ比較セヨ
- 一〇、白墨、鉛筆、活字ノ原料ハ如何
- 一一、吾人ハ米麥ノミテ食料トシテ生活シ得ルヤ否ヤヲ説明セヨ
- 一二、クノボボノ植物ニ付キテ知レル所ヲ説明セヨ

- 一三、蝦ノ構造ヲ説明セヨ
- 一四、左ノ金屬ヲ取ル鑛物ノ名稱及ヒ特徴ヲ示セ

鐵 銅 鉛 亞鉛

- 一五、人間ノ心臟ト蛙ノ心臟トノ構造ヲ比較シ其ノ作用ノ能否ヲ説明セヨ
- 一六、物体ハ温度昇レハ膨脹ス、コノ實驗方法ヲ固體液体氣體ノ各ニ就テ述ベヨ
- 一七、光ノ反射ノ規則ヲ述ベヨ
- 一八、酸素ノ製法ヲ問フ
- 一九、次ノ物質ノ成分ヲ記セ
 - 炭酸瓦斯
 - 水
 - 食鹽
- 二〇、さうりノ花ノ構造ヲ説明セヨ
- 二一、左記ノモノヲ取ルベキ植物ヲ示セ
 - 澱粉
 - 製紙ノ原料
 - 沃度
- 二二、左記ノ動物ノ分類上ノ所屬及ヒ其ノ畧說ヲ示セ
 - イ、夜光蟲
 - ロ、オーストマ
 - ハ、タイマイ
 - ニ、獵虎
- 二三、土壤ノ成因ヲ説明セヨ
- 二四、麥ト云フ題目ニテ出來ルダケ各方面ヨリ詳細ニ説明セヨ

◎裁縫科

(教授法、積方、縫方)

一、部分縫を初歩の生徒になさしむる際教師は如何に注意して可なるか

◎教授法

一、幅四寸五分丈一丈三尺五寸の用紙にて男袷衣服表を裁つべし且積方を圖解せよ

◎積方、裁方

一、表白金巾一尺幅にて一尺六寸裏紅金巾同尺を用ひて袷女物兩袖を縫ふべし

◎縫方

但袖口切は付けず

第三節 尋常小學本科正教員

◎修身科

一、本務トハ如何ナルコトナルカ

二、教育者ニ必要ナル性格ヲ述ベヨ

三、自重心ノ必要ヲ述ベヨ

四、他人ノ自由、名譽ヲ尊ブベキ心得ヲ述ベヨ

五、左ノ解釋ヲナセ

國體ノ精華

公益ヲ廣メ世務ヲ開キ

天壤無窮ノ皇運

恭儉己ヲ持シ

六、禮儀ニ付キテノ心得ヲ述ベヨ

七、義務ト本務トノ區別ヲ説明セヨ

八、誠實ト勇氣トノ關係ヲ記セ

九、遠シ故郷ヲ離レテ修業中ノ學生カ郷里ナル父母ニ孝養ヲ盡ス仕方ヲ記セ

一〇、教員ガ同僚ノ名譽ヲ尊重スル必要並ニソノ仕方ヲ問フ

一一、目下我が國ノ農民ガ陥リツ、アル不公徳ノ實例ヲ列舉セヨ

一二、誠實及勇氣ノ必要

一三、徳ヲ修ムル方法ヲ問フ

一四、教育者ガ其職務ヲ盡スニ如何ナル注意覺悟ヲ要スルカ

一五、子曰質勝レ文則野。文勝レ質則史。文質彬彬。然後君子。

右解釋セヨ

◎教育科

(教育學、管理法)

◎教育學

- 一、吾人ハ兒童ヲ教育シテ將來如何ナル人ヲラシムベキカ
- 二、作業ノ種類及其價值ヲ問フ
- 三、義務教育ノ意義及其必要如何
- 四、概念ヲ説明セヨ
- 五、教育ノ目的上自然主義ト人道主義トヲ比較評論セヨ
- 六、兒童ノ休憩及睡眠ニツキテ教育者ノ注意スベキ要點ヲ舉ゲヨ
- 七、教授ニヨリテ養成スヘキ「興味」ヲ解説セヨ
- 八、兒童訓育上遊戯ヲ必要トスル所以ヲ詳説セヨ
- 九、初入學兒童ノ氣質ヲ見分ケ且之ヲ處置スルニ適當ナル方法ヲ問フ
- 一〇、躰育ノ目的ヲ説キ現今小學校ニテ實施セル兒童體育法ヲ批評セヨ
- 一一、尋常小學校教科目相互ノ關係ニツキ述ベヨ
- 一二、兒童ヲ看護スル必要及方法ヲ述ベヨ
- 一三、男女兩性ノ差異如何
- 一四、學校ト卒業生トノ連絡ヲツクシレハ何ノタメナリヤ又其連絡ノ方法ハ如何ニスベキカ
- 一五、兒童ガ始メテ「距離」ノ知覺ヲ得ルニ至ル心理的經過ヲ説明セヨ
- 一六、悟性ト理性トノ區別如何

- 一七、教育學ハ教育ノ實際ニ如何ナル效能アルカ
- 一八、教授ト訓育トノ關係ヲ説明セヨ
- 一九、教師ガ命令ヲ發スルニツキテ注意スベキ條件ヲ舉ゲヨ
- 二〇、教師ガ兒童ノ家庭ノ状態ヲ熟知スルノ必要ナル所以如何

◎管理法

- 一、尋常小學校ノ加設科目ニツイテ述ベヨ
 - 二、尋常小學校教科用圖書中、兒童ニ使用セシム可ラザルモノヲ舉ゲヨ
 - 三、就學ノ免除及ヒ猶豫ノ場合ヲ舉ゲヨ
 - 四、小學校教員タルモノ、居住ニ關スル義務ヲ舉ゲヨ
 - 五、教授時間割調製上ノ注意如何
 - 六、在學兒童ニシテ正當ノ事故ナク引續キ七日間缺席シタル時ハ如何ニナスベキカ
 - 七、適當ナル机腰掛ニ具備スベキ要件
 - 八、正教員ト准教員トノ職務上ノ差異
 - 九、學校沿革史記載心得
- ◎教授法
- 一、尋常小學校第一學年算術科「一ノ二ト唱フル數ヘ方」教授案ヲ作レ

- 二、算術問題ノ提出法ニツイテ述ベヨ
- 三、修身教授上諸徳ノ配當ニツキテ述ベヨ
- 四、算術ノ初步教授ニ於テハ如何ナル方法ヲトルベキカ
- 五、國語教授上句讀ニツキテ述ベヨ
- 六、國語科話ソ方練習ノ要件ヲ舉ゲヨ
- 七、暗算、筆算、珠算ノ得失ヲ述ベヨ
- 八、地理科郷土誌ノ教法ヲ述ベヨ
- 九、臨畫ノ教法ヲ述ベヨ
- 一〇、學校長教員新任轉任ノ時規定ノ期日内ニ着任スルコト能ハサル時ハ如何ナル手續ヲ要スルカ
- 一一、明治三十三年四月二日生誕ノ兒童ノ學齡ニ達スル年月日就學義務ノ生スル年月日及其就學ノ始期如何
- 一二、教授上復習ノ目的及之ヲ行フニ當リ遵奉スベキ緊要ナル條件如何
- 一三、左ノ數ヲ暗算セシムル經路如何
(1) 13—5 (2) 42+39 (3) 17×3 (4) 58+8 (5) 248—78 (6) 35×9
- 一四、製鹽法ノ野外教授案ヲ作レ但尋常三學年ノ程度トス

◎國語科

(講義、文法、作文、習字)

◎講讀

- 一、左ノ文章ヲ解釋セヨ
山はろの高さを欲し、水はろの廣さを欲す。千峰趨り、萬巒走り、環繞周匝、拜するが如く、揖するが如し。矗立萬丈、四海を瞰視して是に臨むもの、眞に天地の雄物に非ずや。若しうれ、煙波浩蕩、千里一碧、一旦空回り、雲昏く、海水天風、渙然として相遭ふや、瀟灑吹盪、渺として際涯なし。萬頃の波瀾、注げば則ち天神となり、立てば則ち岳王となり、澎湃動蕩、亦眞に天地の偉觀に非ずや。大人物の規度多く茲に出づ。顧て人生名利の巻を望まば、誰か其の子々焉たるに驚かさらんや。
- 二、左ノ文ヲ解釋セヨ
1、吾人の理想的生活は、理想界を造り出して、これヲ實現界となすに在り。
2、桑田碧海の諺を眼前に示す。
3、見どころなき草の屋も、背戸に樺の一樹あれば畫に入るべし。
- 三、左ノ文章ヲ解釋スベシ (但シ傍線アル字ニハ振假名ヲ附クベシ)
久能山は德川氏の始祖家康の英靈を祀るところ之を日光にくらぶるに、建築の宏麗、規

模の壯大は、雷に數等を減ずるのみならず、ひとり登臨の美に至りては、はるか
に其の右に出づるものあり。前にはかぎりなき有度の浦浪、殷雷の響きをなして山ま
た山をきづき、うしろには久龍うどの岑相つらなりて、洪濤のひるがへるがごとく、
海山相吞吐し、萬宇の風烟一幅の畫像をあらはして、まことにたぐひなき東海の靈區
なるを失はず。

四、左ノ語句ノ解釋

- 1、北馬南船、行李れろさいるところなし。
- 2、數奇を極めて築きたる庭園の跡なりとればし。
- 3、など、彼の人に方人カタウケはしつなむ
- 4、異彩を放つ
- 5、博搜旁引

五、余は一日伯林より程遠き地方に旅行してある家に宿りぬ主人はさばかり教育ある人と
も見ゆざりしが余に醃藏の肉と麥酒とを供して遠來の珍客を饗應すべき物とてはあ
らずわれ等は我が國の軍備と教育とを完備せしめむがため多額の租税を上納せるを以
て平常節儉せざるべからずこはひとりわれ等のみにあらず國民みな然るを以て君もこ
れを諒せよされどろのかばりに我が國の教育と軍備とを熟覽して家づともし給へな

といひぬ。

右傍線ヲ施セル語句ヲ詳解シ更ニ全文ヲ通解スベシ

六、廣軌鐵道、翻譯、 鶉蛙の争、 青丹の技、

右意義ヲ問フ

七、左ノ文章ノ傍線ヲ引ケルトコロヲ詳解シ次ニ全文ヲ解釋スベシ

1、龍を見て龍となす、難きにあらず、一寸の龍を見て、はやくも、ろの雲を起し、
霧を吐き、茫洋として空間を窮め、日月に薄るを知る、これ、難きなり。知己の難
きは、ろのいまだ發達せざる時に在いて、他日の發達を下すことの難きにあり。
ろのあらはれたる嘻笑怒罵の外に、かくれたる胸間の神秘を會得することの難きに
あり。

2、公の、畏きあたりの御ねばえ、殊にめでたかりしは、世の人の知る所なるが、大
君の御爲とならば、我をわきて、人はあらじと思ひ給へる、隱きはぬ、明き心の深
かりしは、これ予君臣水魚とも申し奉るべき。

◎文 法

一、左ノ諸語ハ如何ナル品詞ニ屬スルカ
盛なり 更に 重なり ゆゑ こと

- 二、動詞ヲ行變格ヲ説明セヨ
- 三、例ヲ舉ゲテ敬相ノ助動詞ヲ説明セヨ
- 四、左ノ文ノ誤ヲ正セ
繁劇に堪ぬないから少し延期が願われないうらふわ。
- 五、文章篇ニヨリテ左ノ文ヲ解剖セヨ
彼は漸く學問の必要を感じて師に學べり。
- 六、動詞ノ音便ヲ説明セヨ
- 七、左ノ助動詞及ビ助詞ヲ説明セヨ
べし る に ば
- 八、左ノ文ヲ文章篇ニヨリテ解説セヨ
明治の盛業は、廣く智識を世界に求むるを以て國是となしよによる
- 九、副詞ガ動詞形容詞及ビ他ノ副詞ニ添ヘル場合ヲ例示セヨ
- 一〇、疑問ノ助詞やかノ用法ヲ説明セヨ

◎作 文

- 一、招魂社 (普通文)
- 二、妹に割烹修業を勧むる文 (書翰文)

- 三、教師と自修 (普通文)
- 四、育兒法に付知人に注意を與ふる文 (口語文)
- 五、物の價 (普通文體)
- 六、厭世家に與ふる文 (口語文體)
- 七、分業 (普通文體)
- 八、人に紹介をたのむ文 (口語文體)

◎習 字

用 紙 縦

事	必	有	志
而	後	可	成

右楷、行二體ニ書セヨ

用 紙 横

ひかしの人のしをりせしあ
 とをも認めてわけ行かばふ
 みのはやしのろのれくには
 まれの花もにはふらひ

右行書ト平假名トニ書セヨ

大 辯 不 言

右楷行草ノ三体ニ認ムベシ

行 義 達 其 道

右用紙縦ニ行ニ各楷行ニ書スベシ

清明の雨に新緑も一層色を
ろへ候折から愈御壯康奉賀
候さて家園の新茶昨今始め
て出来仕候間些少なから小
包に託し御れくり申上候日
永の御入れかへにもなし下
され候はゞ本懐の至りに候
敬具

右用紙ナ横ニシテ行書又ハ草書
ニ平假名ヲ交ヘテ書スベシ

◎地 理 科

- 一、本邦ノ生産上著シキ平野ヲ列舉シテ之ニ付キテ知ル處ヲ記セ
- 二、本邦ノ石炭主産地ヲ舉ゲヨ
- 三、韓國ノ氣候ヲ述ベヨ
- 四、南アメリカ洲ニアル獨立國名ヲ列舉セヨ
- 五、左記ノ所在地及ビ其著シキコトヲ記セ
 - 別府 ハルセロナ 寧波 ハンコソ 城崎 ホルドー
 - 龍山 イキケ 館山 モントリオール
- 六、本邦ノ裁判所ノ種類及ビ其性質ヲ述ベヨ
- 七、本邦ニテ消費スル石油ノ産地ヲ記セ
- 八、本邦ヨリ英國ニ到ル主要ナル交通路ヲ舉ゲヨ
- 九、左記ノ所在地及ビ其著シキコトヲ記セ
 - 習志野 長岡 網走 幣滑 開城 秦皇島
 - ハンブルグ マンチール バタビヤ フイラデルフィヤ
- 一〇、左ノ意義ヲ解明セヨ

イ、大坂築港

ロ、東京市區改正

- 一、零圖ヲ以テ奈良縣ノ名所、古蹟ノ著ルシキモノヲアゲ且ツ其由緒概畧ヲ記セヨ
- 二、愛知、岐阜兩縣下ニ於ケル陶磁器ノ製産地ヲアゲ其産出ノ概況ヲ示セ
- 三、ふらんす國ノ氣候、産業ヲ問フ
- 四、あめりか合衆國ノ政体ヲ説明セヨ
- 五、南京米ノ産地ヲ問フ
- 六、北清ニ於ケル既設鐵道ヲ學ケヨ
- 七、プロシア平原ノ性質及生産物ヲ述ヘヨ
- 八、北日本ト南日本ト異ナル点ヲ列舉セヨ
- 九、臺灣ト内地及支那トノ交通ヲ述ヘヨ

◎歴史科

- 一、崇神天皇ノ御宇ニ於ケル重要ナル出來事如何
- 二、南北朝分立ノ原因經過及結末ヲ問フ
- 三、信長秀吉家康ノ三人ノ基督敎ニ對スル處置如何
- 四、明治時代ニ於ケル日清ノ關係ヲ叙セヨ

五、高天原トハ何カ

- 六、天智天皇ノ重モナル御事業三ヲ述ベヨ
- 七、豊臣秀吉天下ニ一統後ニ於ケル施政ヲ述ベヨ
- 八、徳川時代ニ於ケル國學ノ勃興ヲ述ベヨ
- 九、奈良朝ノ宗敎及風俗ヲ述ベヨ
- 一〇、秀吉ノ一統事業ヲ問フ
- 一一、左ノ事項ニ就キ要点ヲ述ヘヨ
記録所 小牧ノ陣 海防論ノ起リ
- 一二、左ノ人々ノ事蹟ノ要点ヲ述ヘヨ
島津久光 毛利輝元 源頼政

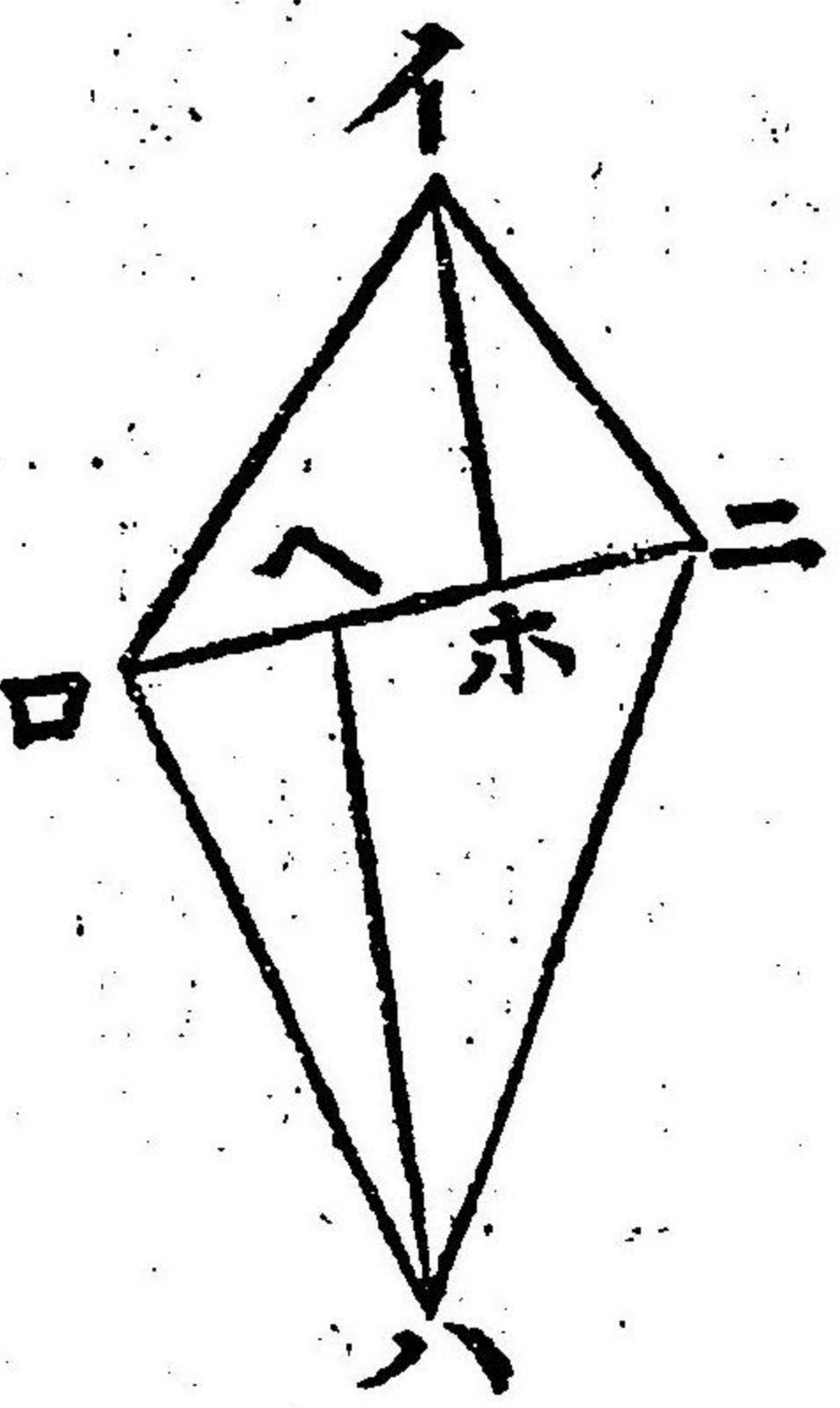
◎算術科

(珠算)

◎珠算

- 一、 $6975.85 \div 133 = (5.949 - 2.786) + 21.4 \times 93.247$ ノ値ヲ求メ
- 二、圓周ノ直径ノ3.14159265倍ニ等シトセバ半徑2.24尺ナル日ノ丸ノ周ハ何程ナルカ
- 三、34.206ノ平方數ヲ求メ

- 四、三百里ヲ隔ツル兩府ヨリ甲乙二人同時ニ相向ヒテ出發シ甲ハ毎日十六里二十三町、乙ハ毎日十四里十七町ヲ行クトセバ八日ノ後二人相距ルコト幾里ナルカ
- 五、元金五百三十四圓、年利一割二分、二年三ヶ月間ノ利息幾何
- 六、左ノ割リ聲ヲ用ウル場合及意味ヲ説明セヨ
三二、三十一。五一加一。六一下加四。四二天作五。見二無頭作九ノ二。歸一倍二
- 七、 $10808.58 + 23.86$ ノ商ヲ求メ
- 八、 4367×68.08 ノ商ヲ求メ
右七八ニ於ケル割リ算、及乗ケ算ノ命位法ヲ述ベヨ
- 九、小口當座預金ノ日歩壹錢四厘ナルキ二千五百圓ノ八十九日間ノ利息幾許
- 一〇、左ノ如キ形ノ地面ノ坪數ヲ問フ
「ロ」三十五間一尺五寸「イ」二十七間「ハ」三十一間三尺



- 一一、人アリ金若干ニテ家ヲ買ヒ之ヲ金二千六百六十圓ニ賣拂フキハ原價ノ四分(歩合算ノ)ヲ損スト云フ問フ原價ノ一割二歩ノ利益ヲ得ンヨハ金何程ニ賣リテ可ナルカ
- 一二、小口當座預金ハ日歩一錢壹厘ニシテ一年ノ定期預金ハ五分五厘ナルキ金二千五百二十五圓ヲ一年間預ケ入ル、并其利金ノ差幾許
一三、 $7854 + 2.86$ ノ商ヲ求メ幾何ニシテ下四捨五入セヨ
- 一四、間口三十五間二尺奥行十八間五尺五寸ノ坪數ヲ勻マテ求メ以下四捨五入セヨ
- 一五、イ $0.768 + 88.2$ ノ商ヲ求メ幾何ニシテ下四捨五入セヨ
ロ 右ノ商ニ八十五箇六分七厘八毛ト九十九箇四分五厘三毛トヲ加ヘ之ヨリ五十二箇八分四厘六毛ヲ成セヨ

◎算

- 一、一晝夜ニ三十分ツ、進ム時計ヲ或日ノ正午ニ正シキ時ニ合セ置クトキハ翌朝コノ時計ノ七時三十六分ヲ示ス時刻ハ正シキ時計ノ何時ナルカ
- 二、倉庫ト建家トヲ火災保險ニ附セシニ倉庫ハ一分二厘五毛ニシテ建家ハ一分七厘五毛ナリ而シテ保險料合計百四十七圓七十五錢ヲ支拂ヘリ倉庫ノ見積價額ハ金三千七百圓ナリトイフ建家ハ幾何圓ニ見積リシカ
- 三、甲乙丙三人コテ或事業ヲ營ム爲ニ甲ハ八百圓乙ハ九百五十圓丙ハ六百五十圓ヲ出セリ

三ヶ月ノ後甲ハ更ニ二百五十圓ヲ出シ乙ハ最初ヨリ二ヶ月ノ後二百圓ヲ取戻シ丙ハ初
 メヨリ六ヶ月ノ後更ニ四百圓ヲ出セリ而シテ一ヶ年ノ後二千五百十六圓ノ利潤ヲ得
 リ此利益金ハ如何ニ三人ノ間ニ分配セラルベキカ
 四、東倉庫内ニハ米四百五十九俵、西倉庫内ニハ米二百三十七俵アリ東倉庫ヨリハ毎日九
 俵ツツ西倉庫ヨリハ毎日十五俵ツツ出ダサバ幾日ノ後東倉庫内ノ俵數ガ西倉庫内ノ俵
 數ノ三倍トナルカ

五、甲地ヲ發シ一時間ニ十八町ツツ行ケバ豫定ノ時刻ヨリモ三時間遅ク、一時間ニ二十四
 町ツツ行ケバ豫定ノ時刻ヨリモ二時間早ク乙地ニ到着スベシトイフ豫定ノ時間幾何ナ
 ルカ

六、三十日間ニ成就セシメザルベカラザル工事アリ最初ハ十八人ノ工夫ヲ使役セシメ十二
 日間ヲ經テ全工事三分ノ一ダケ落成セリトイフ豫定ノ日限マデニ成就セシムルニ此時
 工夫幾人ヲ増サザルベカラザルカ

七、空氣ハ主トシテ酸素窒素ノ混合ヨリ成リ體積ニツキテハ百分ノ二十一ノ酸素ト百分ノ
 七十九ノ窒素トヲ含メリ空氣一貫目中ニ含有セル酸素及窒素ノ目方ハ各何程ナルカ
 但酸素ト窒素トノ比重ノ比ハ八ト七トノ比ナリトス

八、半徑五糎ナル球ノ表面積、及體積ヲ算出セヨ

九、二條ノ繩アリ其長サ合セテ百三十五間三尺ナリ而シテ其一條ヨリ十五間二尺七分ノ三
 マケ切り取リシニ他ノ一條ヨリ四間三尺九分ノ七ダケ短カ、リシト云フ各ノ長サ幾何

一〇、海草、海藻類189.45ナリトシテ海草ノ中ニ海草、海藻類ノ何種ナリト云フ

一一、酒一升毎ニ水二合ヲ混シタル液ト酒一升毎ニ五勺ノ水ヲ混シタル液トヲ如何ナル割
 合ニ混合セバ酒一升毎ニ水一合ヲ含ム液ヲ得ベキカ

一二、割引歩合年八分、十月三日振出額面三千八百五十圓六十日拂爲替手形ノ十月九日
 於ケル價幾何

一三、甲地ハ元標ノ正東八里六町ノトコロニ在リ、乙地ハ元標ノ正南ニ在リ、甲地ヨリ乙
 地マデハ差シ渡シ十三里二十二町アリト云フ、乙地ハ元標ヲ距ル何里何町ナルカ

一四、一升ノ價酒ハ醬油ノ三倍半ナリシニ其後何レモ五錢ツ、騰貴シタルニヨリ酒ハ醬油
 ノ三倍トナレバ各現今一升ノ價如何

一五、混成旅團アリ歩兵三千六百人騎兵八百人砲兵千二百人工兵六百人ヨリ成ル今各兵種
 ナ混セズシテ相等シキ人數ノ隊ニ分テ隊數ヲ最小ナラシメントス總隊數幾許

一六、空車ハ一日ニ十五里行キ積載車ハ一日ニ十二里行ク今車十二輛ヲ用キ每輛三俵ツ、
 積ミテ七百二十俵ノ米ヲ四日間ニ全ク運ビ盡セリト云フ何程ノ距離ノ所マデ運ビシカ

一七、或人地所ヲ買ヒシニ其代金八万四千五百二十圓ニシテ内一万圓ハ即金ニテ支拂ヒ一

万六千二百圓ハ二ヶ年後ニ支拂ヒ其残りハ三ヶ年後ニ支拂フベキ約束ナリ然レニ一ヶ
 年ノ後年八分ノ割引ニテ殘金ヲ悉ク償却セントス此支拂フベキ金額ヲ眞割引及銀行割
 引ノ二様ニ計算セヨ

一八、元金若干圓アリ年二割ニテ三ヶ年ノ利息ヲ算スルニ單利ヨリ複利ハ二十四圓多シト
 云フ然ラバ元金幾何

一九、某公園ノ樹數總計五百十五本ニシテ櫻ハ松ヨリ三十五本多ク梅ハ松ヨリ五十四本少
 ク梅ト桃トノ比ハ八ト七ナリ依テ各樹數ヲ問フ

二〇、三反八畝歩ノ畑ノ中ニ半徑四間ノ正圓ノ池アリ作物ヲ植ニ得ル場所ノ廣ヲ問フ

◎理科 (物理、化學)

◎物理、化學

- 一、消火用ポンプヲ説明セヨ
- 二、電信機ヲ説明セヨ
- 三、慣性トハ如何例ヲ舉ゲテ之ヲ説明スベシ
- 四、鹽素ノ製法性質及用途ヲ記セ
- 五、炭水化物ニツキ知ル所ヲ述ベヨ

- 六、水中ニテ物体ヲ持テテ輕ク感ズルハ何故カ
- 七、冬ハ多ク黒衣ヲ用ヒ夏ハ白衣ヲ用フル理如何
- 八、電、及ビ雷ニツキ知ル所ヲ記セ
- 九、化學變化トハ如何
- 一〇、左記ノ物質ニツキ知ル所ヲ記セ

亞鉛 石灰 蛋白質

- 一一、挺子トハ如何及ビ之ヲ用ヒテ力ニ益セントセバ如何ニスベキカ
- 一二、液体全部ヲ温ムルニハ之ヲ下ヨリ熱スル理如何
- 一三、電信機ノ裝置及其音信ヲ通スル理ヲ問フ
- 一四、酸、鹽基、及ビ鹽トハ如何
- 一五、光ノ屈折ヲ實驗スル方法ヲ述ベヨ
- 一六、音ノ強弱ト高低トノ差異ヲ問フ
- 一七、池水ガ表面ヨリ凍ルハ何故カ
- 一八、水素ノ製法、性質、及用途ヲ記セ
- 一九、例ヲ舉ゲテ酸化ノ意義ヲ説明セヨ

◎博物

- 一、マツダケニ付テ知ル所ヲ記セ
- 二、普通ノ食用ニ供スル地下莖ノ種類ヲ學ケ其ノ植物學ノ科名ヲ示セ
- 三、有吻類ノ特徴ヲ示シ此ノ類ニ屬スル害蟲ヲ列舉セヨ
- 四、鳥ノ飛翔ニ適セル點ヲ説明セヨ
- 五、左ノ金屬ヲ取ル鑛石ノ名稱ヲ問フ
水銀 鉍 亞鉛 鐵
- 六、胃、肝臟、脾臟、消化機能ヲ説明セヨ
- 七、單子葉植物ト雙子葉植物トノ異ナル點如何且ツ各其ノ數例ヲ示セ
- 八、左ノ植物ニ付キ知ル所ヲ記セ
テングサ 硅藻 キンポীগ フノリ ケンノヰエー
- 九、キツ、キノ付キ知ル所ヲ記セ
- 一〇、昆蟲類ニシテ有益、有害ナルモノ各五種以上ヲ示セ
- 一一、水晶ノ出來方其ノ用法ヲ示セ
- 一二、運動神經、知覺神經トハ如何
- 一三、あぶらなノ花ノ構造ヲ圖解シ各部ニ名稱ヲ附ケヨ
- 一四、四五月頃開花スル薔薇科植物ヲ列舉セヨ

- 一五、左記ノモノハ如何ナル動物ノ如何ナル部分ヨリ取ルモノナリヤ
シヤコー 羅紗ノ原料 シンジュ サメエ 洋紅
- 一六、はまぐりノ呼吸及ビ採食法ヲ説明セヨ
- 一七、硝子ノ製造ニ付テ説明セヨ
- 一八、釋液ノ生理作用ヲ説明セヨ

◎圖 畫 科

- 一、夏帽子ヲ實寫シ之ニ花簪ヲ想像シテ添加セヨ
但シ鉛筆畫毛筆畫何レニテモ隨意ニシテ陰影ヲ加ヘルヲ要ス

◎体 操 科

- 一、体操準備
集合 整頓 分列 排列
- 二、徒手体操
第一節ヨリ終尾マデ
- 三、啞鈴体操

第一節ヨリ第十二節マデ

四、徒手体操

体操教範第一部 第一教第二運動 第二教第五運動 第三教第三運動
第四教第六運動

五、各個教練

不動姿勢 右轉回 行進 行進間左右轉向

六、小隊教練

整頓 伍ノ重複 伍ノ方向變換 右左向ケ停止

七、体操準備

整頓 番號 右(左)轉向 右(左)轉回 行進 停止
行進間ニ於ケル轉向及轉回 停止ヨリ轉向行進

八、各個演習

下翼、交互足ノ 十字形(一)、頭ノ轉回、上屈臂、一臂前伸
直立 斜前斜後出 開脚直立 直立 一臂側伸 左右交換、

下翼步狀(一)、舉踵、
直立

下翼步狀(二)、上体ノ側屈、
直立 下翼、跳躍(其協
コテ)

九、徒手体操第一(連續)

一〇、啞鈴体操第一

一一、体操準備 一列橫隊集合

整頓 番號 排列(大間隔)

一二、各個演習

下翼、足ノ前後出、屈膝、舉踵、
直立 屈臂、一臂上伸 左右交換、
直立 一臂側伸
下翼、一臂側伸 左右交換、
直立 腳踏二步、跳躍轉向、

一三、連續演習(徒手第一)
一四、連續演習(啞鈴第一)

◎裁縫科 (教授法、積方
裁方、縫方)

◎教授法

- 一、裁縫方を尋常科四學年生に教授するに當り豫め教師の準備し置くべき教具につきて知れる所を記せ且教授の順序をも零記すべし
- 二、裁縫用器具の整理法を生徒に教授し之を實行せしめて一の習慣となさしめんには如何に裁くれば可なるか
- 三、運針を生徒に教授する際取らしむべき姿勢及教授の方法を問ふ

◎積り方

- 一、巾一尺七寸の布を以て本裁衣服を裁つに袖丈一尺五寸五分の仕立上とせば用布如何となるか其積方を問ふ

◎裁方

- 一、幅四寸五分丈一丈二尺五寸の用紙にて女單衣羽織を裁つべし且積方の圖及算式を記すべし
- 二、與ふるところの用紙にて四ツ身單衣服を裁つべし
- 三、與ふるところの用紙にて前衿裁一枚を裁つべし

◎縫方

- 一、單衣男服一枚を縫ふべし 但寸法は普通とす

- 二、與ふるところの用布にて左右の襟を縫ふべし 六分庇
- 三、與ふるところの用布にて本裁綿入男物の左右の袖を縫ふべし 寸法(實物大)左の如し

- 1 袖口明七寸 2 袖丈いつばい 3 袖巾八寸八分 4 縫入形二寸

◎音楽科

- 樂理 1 本譜ヲ以テ二分音符、八分音符、四分休止符、八分休止符ヲ記セ
- 2 〃次 以上ノ記號ノ名稱並ニ用途ヲ記セ

唱歌 朝起 (唱歌教科書)

樂器使用 見渡セバ (小學唱歌集)

第四節 尋常小學校本科准教員

◎修身科

- 一 愛國心ノアル人トハ如何ナル人ナリ云フカ
- 二、正直ト熱心トノ價値ヲ問フ

- 三、容儀トハ何ゾ
- 四、「慎獨」ヲ説明セヨ
- 五、誠實ノ必要ナル所以ヲ述ベヨ
- 六、兄弟ニ對スル心得ヲ述ベヨ
- 七、服装ニ付キテ注意スベキコトヲ述ベヨ
- 八、左ノ格言ヲ説明セヨ
艱難ハ人ヲ玉ニス
- 九、戦死セシ人ノ靈ヲ祭ル時ノ心持ハ如何アルベキカ
- 一〇、自立自營ノ必要ナル所以ヲ述ベヨ
- 一一、市町村ノ公民ハ如何ナル責任アリヤ
- 一二、實例ヲ舉ゲテ「朋友相信」ノ趣旨ヲ説明セヨ
- 一三、兄弟ニ友ナルコトガ何故父母ニ孝トナルカ
- 一四、師ニ對スル道ヲ記セ
- 一五、學生ノ登校時限ニ後ル、コトハ何故ニ惡シキカ
- 一六、乞食ニ物ヲ與フル可否並ニソノ理由ヲ問フ

◎教科

- 一、尋常小學校修身書第一學年用書ニ「天皇陛下」ノ一課ヲ置キタル所以
- 二、算術ノ初歩教授ニ於テハ如何ナル方法ヲトルベキカ
- 三、訛言ノ矯正ニツキテ述ベヨ
- 四、分別書法ノ初學年ニ必要ナル理由
- 五、教師ノ具フベキ資質如何
- 六、讀本教授ノ普通ノ形式ヲ陳ベヨ但尋常三學年ノ程度ニ依ルベシ
- 七、初メテ除算ノ法式ヲ教フル時ノ教授法ヲ作レ
- 八、直觀教授ノ目的ヲ述ベヨ
- 九、綴リ方ト書取及ヒ暗誦トノ關係ヲ述ベヨ
- 一〇、臨畫ノ教法ヲ述ベヨ
- 一一、尋常小學校第一學年算術科「一二」ト唱フル數ヘ方「教授案」ヲ作レ
- 一二、話シ方教授ノ目的如何

◎國語科

(朗讀、作文、習字)

◎講讀

一、われは十二の時より浪華なる心齋橋の相摸屋某の家につかはれたるものなりとるに

の家は嫡子ありこの人若きすさびに金あまた失ひしかば遂に親の家を逐はるゝ事となりしがこの時ろが母なる人のおれを竊に呼びて汝が志は常に頼もしう思ひわたるをこたびこの子に添ひて何所までも後見してよこれは事あらむ時にとて若干の金を預けられぬかくてろを伴ひて下總の國松戸の里までさすらひぬ

二、かくて先生に導れて裏門より入り榻を庭除に移し婆娑たる松間の月影を眺めつゝ江湖の漫談にうち興じればむす時刻を移せり

右二問トモ傍線ヲ施セル語句ヲマキ出シ讀方意義ヲ記シ更ニ全文ヲ通解スベシ
左の文ヲ解釋セヨ(但シ、傍線ノ語ニハ假名ヲ附セヨ)

三、人間一生の經營事業の永く後世に徳し流風遺韻の遠く子孫を動かすに足るもの、これ吾人の理想とすべき進境にあらずや。

四、林樹が數百日の間氷風雪雨に圍まれたる後青帝の教に遭うて荒涼たる風景の中より稍萌芽を生じたる風景は天地生成の大勢力を示して自から一種の美觀なり。

五、英國は商工業を以て國を立て國民は勤勉にして常識に富み自信の念極めて厚し、英國の名稱と權力とは世界無比なりとの信念を有するは英人を通しての性格とす、英國の國旗の五大洋に翻らざるなく、商業の華客の五大洲に存在せざるなく世界各國語の中にて英語の普及最も盛なるを思へば其自信の厚きも亦怪しむに足らず。

六、職由 淵源 鼓吹 理會

七、俗了 閑却 披露

(讀ニ假名ヲ附セヨ)

八、あしらふ 心つくし 負けじ魂 春秋に富む

九、軍艦は領土の延長なり。

一〇、官武一途庶民に至る迄、各其志を遂げ、人心をして倦まざらしめん事を要す。

一一、老いてころ世は樂しけれ昔よりかはりし今日を思ひくらべて。
一二、大國民たらむと欲せば、科學を重んぜざるべからず。天地の間に一定の自然法あり。人類の進歩と幸福とは、唯この自然の理法に従順し、自然の勢力を利導するによりて得らるべきものにして、科學は此理法を人類に教へ、此勢力を利導する方法を知らしむるものなればなり。

以上解釋

一三、左ノ語ヲ説明セヨ

丹青 犠牲 含蓄 薰陶 歸順 金甌無缺 櫛風沐雨

一四、左ノ句ヲ説明セヨ

額に汗して食ふ 綸言汗の如し 玉事を以て家事と辞す

一五、左ノ文ヲ解釋セヨ

なき父君の親切なる教は意氣燃ゆるが如くなりし、當時のわが心裏にいひかたき深き訓戒を興へたりかくて一旦かうと思ひ立ちし志の止めむにも止め難くわはや心の駒の狂ひ出さむとせし折々わが心底より湧き出で、われどわが無謀の行を止めしものはるの「れのれを屈せよ」との一語なりき。

◎作 文

- 一、自己の經歷 (普通文)
- 二、書籍の買入を人に依頼する文 (書翰文)
- 三、螢 (普通文)
- 四、負傷軍人見舞の文 (書翰文)
- 五、我が家庭 (普通文)
- 六、友人の學校卒業を祝する文 (書簡文)
- 七、子供 (普通文)
- 八、遠國に在る友の病氣を見舞ふ文 (手紙文)

◎習 字

静	以	修	身
儉	以	養	德

書體ハ楷書行書ニ体トス

清明の雨に新緑も一層色を
 るへ候折から愈御壯康奉賀
 候さて家園の新茶昨今始め
 て出来仕候間些少ながら小
 包に託し御れくり申上候日
 永の御入れかへにもなし下
 され候は、本懐の至りに候
 敬具

右用紙ヲ横ニシテ楷書、又ハ行書ニ平假名ヲ交ヘテ書スベシ

大	巧	若	拙
---	---	---	---

右楷行ニ体ニ認ムベシ

用 紙 横

雨ノ面白キハ菖蒲、燕子花
 ナドノ咲キ出ヅル五月雨ノ
 頃ナルベシ降ルカトスレバ
 晴レ晴ル、カト思へバ又降
 リ出デ、其ノ度毎ニ花ノ艶
 麗ヲ増ス

右楷書ト片假名トニテ書セヨ

◎地理科

- 一、本邦近海ノ海流ヲ記セ
- 二、北海道ノ重要産物ニ付キテ知ル處ヲ述ベヨ
- 三、九州ニアル縣名ヲ擧ゲヨ
- 四、左ノ説明ヲナセ
 - 川ノ右岸左岸
 - 川ノ流域
 - 大陸性氣候
 - 瀉
 - 砂嘴
- 五、左記ノ所在地及ビ其著シキコトヲ記セ
 - 若松港
 - 高山
 - 流山
 - 小坂
 - 釜石
 - 米原
 - 三春
 - 高岡
 - 敦賀
 - 首里
- 六、山陽鐵道幹線ニ沿ヘル著名ノ都會ヲ東ヨリ順ニ記セ
- 七、左ノ地名ニ假名ヲ付ケ且ツ其所在地ヲ記セ
 - 國府津
 - 八戸
 - 身延山
 - 高梁
 - 大牟田
 - 嚴原
 - 西表島
 - 淡水
 - 宍道湖
 - 米原
- 八、本縣下ニ於テ大坂商船會社汽船ノ寄港地ヲアゲ示セ
- 九、大湊、足尾、秦野、善通寺、口ノ津ノ所在地并ニ其著名ナル所以ヲ記セヨ
- 一〇、零圖ニヨリテ臺灣ノ地勢ヲ概記スベシ

◎歴史科

- 一、聖德太子ノ御事蹟ヲ記セヨ
- 二、延喜天曆ノ治トハ何カ
- 三、何故ニ南朝ハ正統ナルカ
- 四、島原ノ亂トハ何カ
- 五、高天原トハ何カ
- 六、物部氏ト蘇我氏ノ争ヒヲ述ベヨ
- 七、鐵砲傳來ノ始メ如何
- 八、支那ト交通ノ初メヲ述ベヨ
- 九、徳川吉宗ノ治績ヲ述ベヨ

◎算術科

珠算

◎珠算

- 一、 $0.0441 \div 21 + 0.56$ ノ値ヲ求メ
- 二、 $(2.415 + 6.307 + 5.4693) \times 48$ ノ値ヲ求メ

- 三、(841#18)×53 ノ畝ヲ求ム
- 四、一石拾五圓四拾八錢ノ米五石四斗六升ノ代リニ一石八圓四錢ノ麥九石三斗五合ヲ受取ルトキハ損益幾何ナルカ
- 五、甲乙二組ノ農夫アリ甲組ハ一週ニ三町七段四畝二十二歩ノ地ヲ耕シ乙組ハ五日間ニ三町二段九畝五歩ノ地ヲ耕スト云フ然ラバ此兩組俱ニ二週間働クトキハ幾何ノ地ヲ耕スベキカ
- 六、次ノ表ヨリ明治三十四年ノ我國石炭、銅ノ産出價格ガ明治二十八年ニ幾倍セルカヲ求メヨ (小數第二位未滿ハ四捨五入セヨ)

年	石炭	銅
明治二十八年	一一八七	九〇二
明治三十四年	三〇五九	一六二五

- 七、除數三百二十八、商九千八百七十六、殘數百三十七、ナル被除數ヲ求ム
- 八、三百七十六里二十一町三十一間二尺サ二十八コヲ割レ
- 九、十六貫七百四十匁ヲ「キログラム」ニ改算セヨ

- 一〇、漕船アリ上等室ノ廣サ巾十八尺五寸、長サ六十七尺ナリ、今長サ一尺一寸二分五厘巾三尺ニ付金貳圓四拾錢ノ段通ヲ敷キ詰メントスコノ總價ヲ求ム
- 一一、22489162秒ヲ時分秒ニ化セヨ
- 一二、一反貳圓參拾錢ノ糸織一丈六尺五寸ヲ買ハントス問フ一反ノ長サニ丈七尺五寸トセバ金幾許ヲ要スルカ
- 一三、41596×625ノ畝ヲ求ム
- 一四、七十五箇四分五厘、七十五箇四分九厘、七十五箇六分一厘、七十五箇四分八厘、七十五箇五分七厘、七十五箇五分一厘、七十五箇五分五厘ノ和ヲ七コヲ除シ小數第三位マデ出セ
- 一五、或人七萬八千六百圓ノ資本ヲ以テ商業ヲ營ミ二割七分ニ當ル損耗ヲ蒙リトイフ損失高及殘金幾許

●筆算

- 一、雜誌四千部ヲ發行シ其内五百七部ヲ寄贈シ殘リテ一部ニ付拾四錢五厘宛ニ賣リ利益金百七圓貳拾八錢五厘アリトイフ發行費ハ一部ニ付幾何ナルカ
- 二、六百九十二人ノ生徒四人ツ、一列ニ並ビ各列三尺ヲ隔テ一分時間ニツキ二百九十尺ノ速ニテ長サ九百三十四尺ノ橋ヲ渡ルニハ最初ノ列ガ渡リ始メヨリ最後ノ列ガ渡リ終ル

マデニ幾分時間ヲ要スルカ

- 三、午前十時三十分ニ神戸ヲ發シ午後十時ニ下ノ關ニ着スル蒸車ハ終始等速ニテ進行スルモノト見レバ廣島ヲ何時頃ニ通過スベキカ、但神戸下ノ關間ハ三百二十九哩四分ノ一神戸廣島間ハ百八十九哩四分ノ三ナリ
- 四、或ル日ノ白米相場一石ニ付一等ト五等トノ平均ハ貳拾壹圓拾五錢二等ト四等トノ平均ハ貳拾壹圓參拾貳錢三等ハ貳拾壹圓五拾壹錢ナリ一等二等三等四等五等平均ノ相場一石ニ付幾何ナルカ
- 五、一哩ヲ〇、四〇九七八里ナリトシ哩數ヲ里數ニ直スニ概算五五哩ヲ二里トシテ算出スルトキハ幾(積數)哩以上ハ誤差ガ一哩以上トナルカ
- 六、駈足ニテ百米ヲ百二十三歩ニ行キ且一分時間ニ百六十五歩行クモノトセバ駈足ニテ一里ノ道ヲ行クニハ幾何ノ時間ヲ要スベキカ
- 七、甲乙二人アリ毎時甲ハ十三哩乙ハ十五哩ノ割合ニテ走ルトイフ今或距離ノ競走ニ於テ甲ハ乙ニ四十五秒負ケタリトイフ其距離ヲ問フ
- 八、或ル鐵道線ニ於テ旅客ノ手荷物若干斤マデハ無賃ニシテ其上ハ此制限ヲ超過スル斤數ニ應ジテ運賃ヲ課セラル、モノトス甲乙二人ノ二等旅客アリ甲ハ六拾錢乙ハ壹圓四拾錢ノ手荷物運賃ヲ拂ヘリ兩人ノ手荷物ヲ合併スルトキハ百七十斤トナリ此レダケガ一

人ノ手荷物ナリシナランニハ四圓四拾錢ノ運賃ヲ拂ハザルベカラザリトイフ此線路ニ於テ二等旅客ノ手荷物何斤マデハ無賃ナルカ

- 九、甲乙丙三人アリ甲ハ金六拾圓五拾四錢、乙ハ五拾六圓貳拾六錢、丙ハ四拾貳圓貳拾錢ヲ出シテ木綿七十八反ヲ買ヒ之ヲ分チテ各二十六反ヲ取レリ丙ハ乙及甲ニ何圓ヲ與フベキカ
- 一〇、或人甲地ヨリ乙地ニ行クニ毎時ノ速サヲ三十二町トセバ豫定ノ時ヨリ二時間後ル、チ以テ五十六町ノ速サトナセシニ豫定時ヨリ一時間早ク着セリトイフ其地ノ距離如何
- 一一、甲乙二數アリ其最小公倍數ヲ最大公約數ニテ除シタル商ハ四十六ニシテ最大公約數ハ十三ナリト云フ各數如何但兩數トモ十三ヨリ大ナリ
- 一二、池ノ周リチ長サ三千九百六十「メートル」馬場アリ亞刺比亞馬ハ一分毎ニ六百六十六「メートル」、日本馬ハ一分毎ニ五百二十八「メートル」、支那馬ハ一分毎ニ三百九十六「メートル」走ルトシ三馬同時ニ同所ヨリ同方向ニ走り出シタリトセバ幾何時間ノ後再び一處ニナルカ
- 一三、甲村ヨリ乙村マデ上リ路、乙村ヨリ丙村ヘ下リ路ナリ、人力車ニテ此間ヲ行クニ一時間ニ上リハ二里、下ハ三里ノ速サトシテ甲ヨリ丙ニ行クニハ六時間カ、リ丙ヨリ甲ニ歸ルニハ六時間半ヲ要ス甲ヨリ乙ヲ經テ丙ニ至ルノ里程幾許ナルカ

一、体操準備

一列横隊集合

整頓 番號

排列(大間隔)

二、各個演習

下翼 舉踵

屈臂ノ側伸、上伸、下伸

十字形(五) 臂ノ側開、舉踵

下翼開脚

上体ノ前後屈

下翼 歩狀跳躍

三、連續演習(徒手第一)

四、徒手体操

体操教範第一部

第二教第三運動

第三教第三運動

第四教第五運動

五、各個教練

不動姿勢

右左向ケ

右轉回

行進

行進間右轉回

六、体操準備

整頓

番號 右(左)轉向及轉回

行進

停止

行進間ニ於ケル轉向及轉回

七、各個演習

小(大)間隔横隊

下翼 舉踵

下翼開脚 立頭ノ前後屈

上屈臂 立臂ノ前伸及側伸

十字形(一) 舉踵半屈脚

上伸臂ノ側開舉踵

十字形(三) 上体ノ後屈

下翼 歩狀跳躍

上翼 足ノ前及側出

八、徒手体操第一(連續)第十二節マデ

九、体操準備

集合 整容

番號 整頓

左右轉向及右轉回

前行進

側行進

行進間ノ轉回

各任方向變換

排列

一〇、美容術

第一 第四一

第七

第十一

第十六

第十九

第二十一節 其二

◎裁縫科

(教授法、縫方)

◎教(授)法

一、縫掛方を初歩の生徒に教授する方法を問ふ

二、運針の教授法中諸子等の善良なりと信ずる方法を記せ

三、裁縫用器具の整理法を生徒に教授し之を實行せしめて一の習慣となさしむるまでの縫

方を問ふ

四、運針を生徒に教授する際取らしむべき姿勢を問ふ

裁方

- 一、與ふるところの用紙にて本裁男物衣服を裁つべし
- 二、幅五寸五分丈九尺の用紙にて四ツ身衣服を裁つべし
- 三、與ふるところの用紙にて四ツ身衣服の逆衽裁を裁つべし

縫方

- 一、與ふるところの用布にて左右の襟を縫ふべし 五分衽
- 二、與ふるところの用布にて本裁綿入右袖をつくるべし但し女物にて寸法は普通とす
- 三、幅四寸五分丈四尺七寸の布にて四ツ身衣服の上前身を縫ふべし但單衣物とす

第五節 小學校專科正教員

圖畫科 (自在畫)

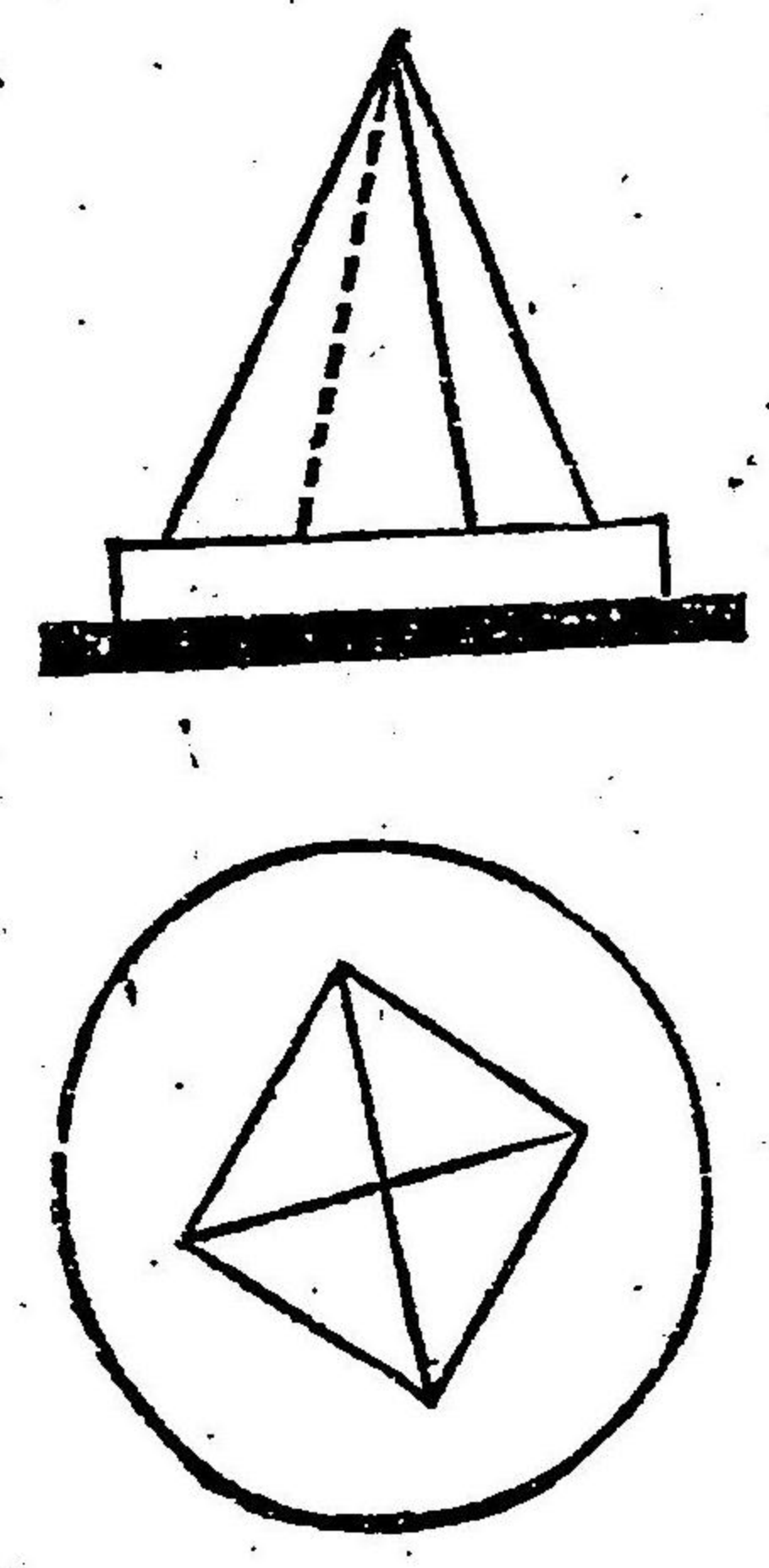
自在畫

- 一、箱入盃ノ箱ト盃トヲ實寫シ之ニ閉ナル扇ヲ想像シテ添加セヨ
 - 二、花ノ實物ヨリテ表紙模様ヲ考按セヨ
- 但シ一、二ハ毛筆畫ニシテ淡彩ヲ附スルヲ要ス

- 一、草花ノ寫生
- 二、右寫生畫ヲ應用シテ平面模様ヲ考按セヨ
- 三、圖畫教授ノ種類ヲ列擧シ之カ目的方法ヲ説明セヨ

用器畫

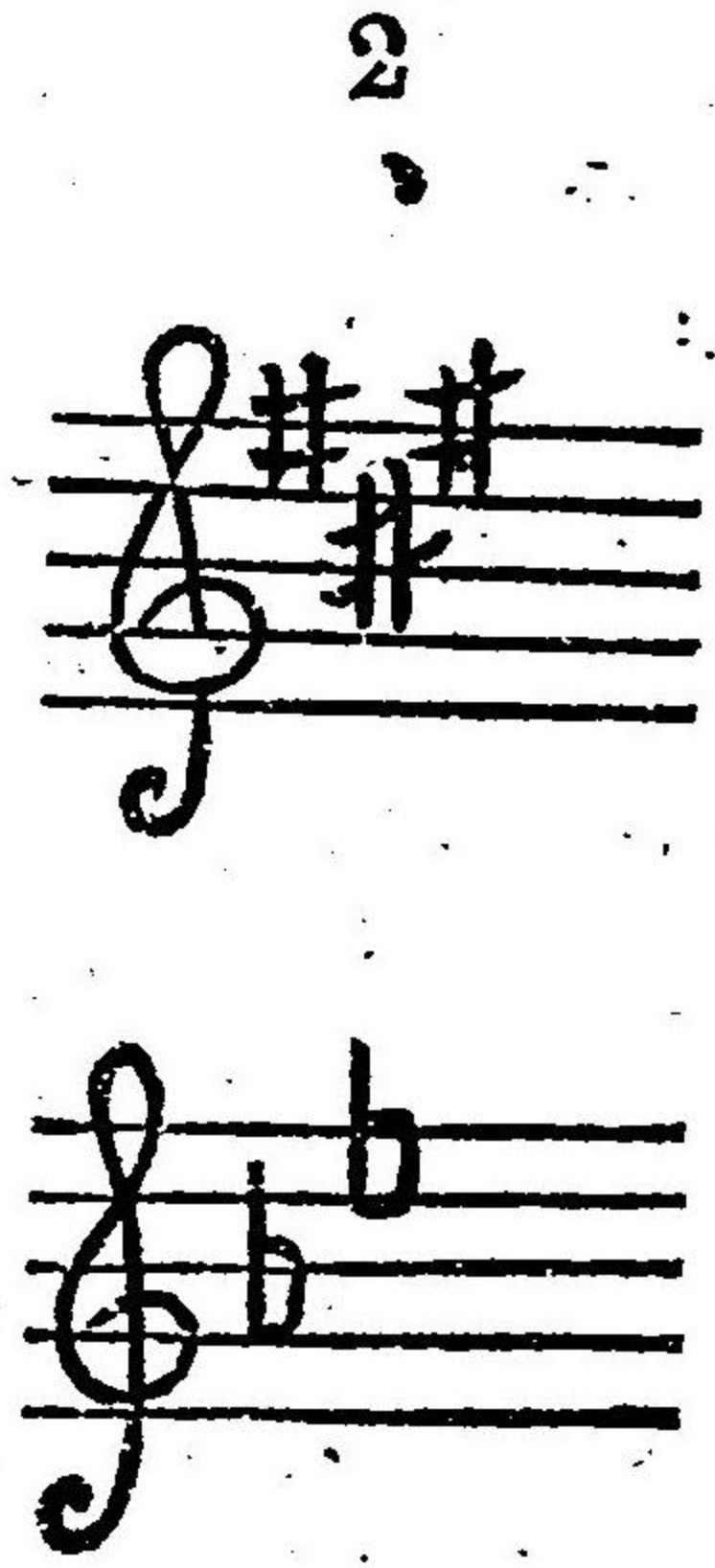
- 一、一邊ノ長サ二寸ノ正立方体ノ均角投影及遠近投影(透視畫)ヲ作製セヨ
- 二、直徑三寸五分ノ丸太ヨリ何寸ノ方柱ヲ得ラルヘキヤ之ヲ圖解セヨ
- 但シ一、二ハ鉛筆ニテ製圖シ之ニ簡單ナル説明ヲ附スヘシ
- 三、定圓上ノ定点及定直線ニ接スル圓ヲ劃ケ
- 四、圓形アリ同心圓ヲ以テ其積ヲ任意ノ數ニ等分セヨ
- 五、圓ノ如キ圓板上ニ方錐ヲ置ケル透視圖及陰影畫ヲ求ム



◎音 樂 科

理論 1、長音階並ニ短音階(旋律的短音階)ノ旋法ヲ記セ

以上二種ノ調子名ヲ記セ



唱歌 母の思ひ (小學唱歌集第三編) (本譜)
樂器 やよ御民 (全 斷) (本譜)

◎裁 縫 科 (教授法、積方、裁方、縫方)

◎教 授 法

- 一、一時間の豫定にて高等科第三學年生に衣服の保存法を教授する草案をつくれ
- 二、生徒に部分縫及裁方をなさしむる際持たしむべき切地及尺度につきて自己の意見を述べよ
- 三、小學校に於て裁縫教授の主眼とするところを問ふ

- 四、初歩の生徒に運針を教授するに當り最も適當なる方法を記せ
- 五、高等科第一學年生に本裁給男服の裁方を教授する教案をつくれ
- 六、縫方を練習なさしむる際生徒に遲速の差を生せし時如何にして可なるか其方法を問ふ
- 七、高等科第四學年生に編入女羽織の裁方を教授する順序方法を問ふ

◎積 方

- 一、並幅一匹の両面物にて前衿裁二枚一ツ身衣服一枚の積合を問ふ
- 二、一尺幅の片面物にて本裁被布を裁たんとするに袖丈一尺五寸の仕立上とせば用布如何なるか且右に要する裏地の丈を問ふ
- 三、一尺三寸の中巾片面物にて長襦袢を裁つに袖丈一尺六寸の仕立上身丈三尺五寸の裁切とせば用布如何程其積り方を問ふ
- 四、二丈四尺五寸の小倉織を以て男袴を裁つに形一丈六分とせば後丈如何其積り方を問ふ
- 五、幅一尺三寸總丈一丈八尺二寸の片面物にて四ツ身衣服を裁つに袖丈裁切一尺五寸とせば身丈如何となるか且此表地に要する裏地を問ふ
- 六、幅一尺一寸の八丈織を以て女服の上着一枚下着裾廻り表一枚を裁つに身丈仕立上四尺とせば用布如何其積り方の圖式を問ふ

◎裁 方

- 一、五寸五分巾一丈二尺五寸の用紙にて十番馬乘袴を裁つべし
- 二、與ふるところの用紙にて中裁被布の表裏を裁つべし
- 三、與ふるところの用紙にて本裁男物單衣羽織二枚を裁つべし

◎縫方

- 一、與ふるところの用布にて本裁男物單衣羽織を縫ふべし
- 二、與ふるところの白絹にて赤糸にて直線縫を拾筋なすべし (針目は一分とす)
- 三、與ふるところの用布にて四ツ身拾衣服の上前半身を縫ふべし
但襦は三分とし裾綿を入れるべし
- 四、幅四寸五分丈一丈四尺の布にて單衣羽織女物一枚を縫ふべし

◎教 育 科

- 一、教師ニ必要ナル性格ヲ問フ
- 二、健康上教室ノ取扱方ハ如何ニスベキカ
- 三、命令禁止ヲ行フ上ノ注意ヲ述ベヨ
- 四、小學校教育ノ本旨ヲ問フ
- 五、教授ノ階段ヲ説明セヨ

- 六、賞罰ノ目的及其適用上ノ注意ヲ述ベヨ
- 七、美的情操トハ何ツ

◎家 事 科

- 一、中流の生活を營む家に適する一週間分の献立をつくるべし
- 二、今手頭を負傷し出血する兒童あり之に對する應急の手當方を問ふ

小學校 教員 受驗案内並問題終

明治四十二年四月十日印刷
明治四十二年四月十七日發行

編纂者

和歌山市北田邊町十八番地
豐永 狷介

發行者

和歌山市久保町一丁目二十六番地
爲森 新三 郎

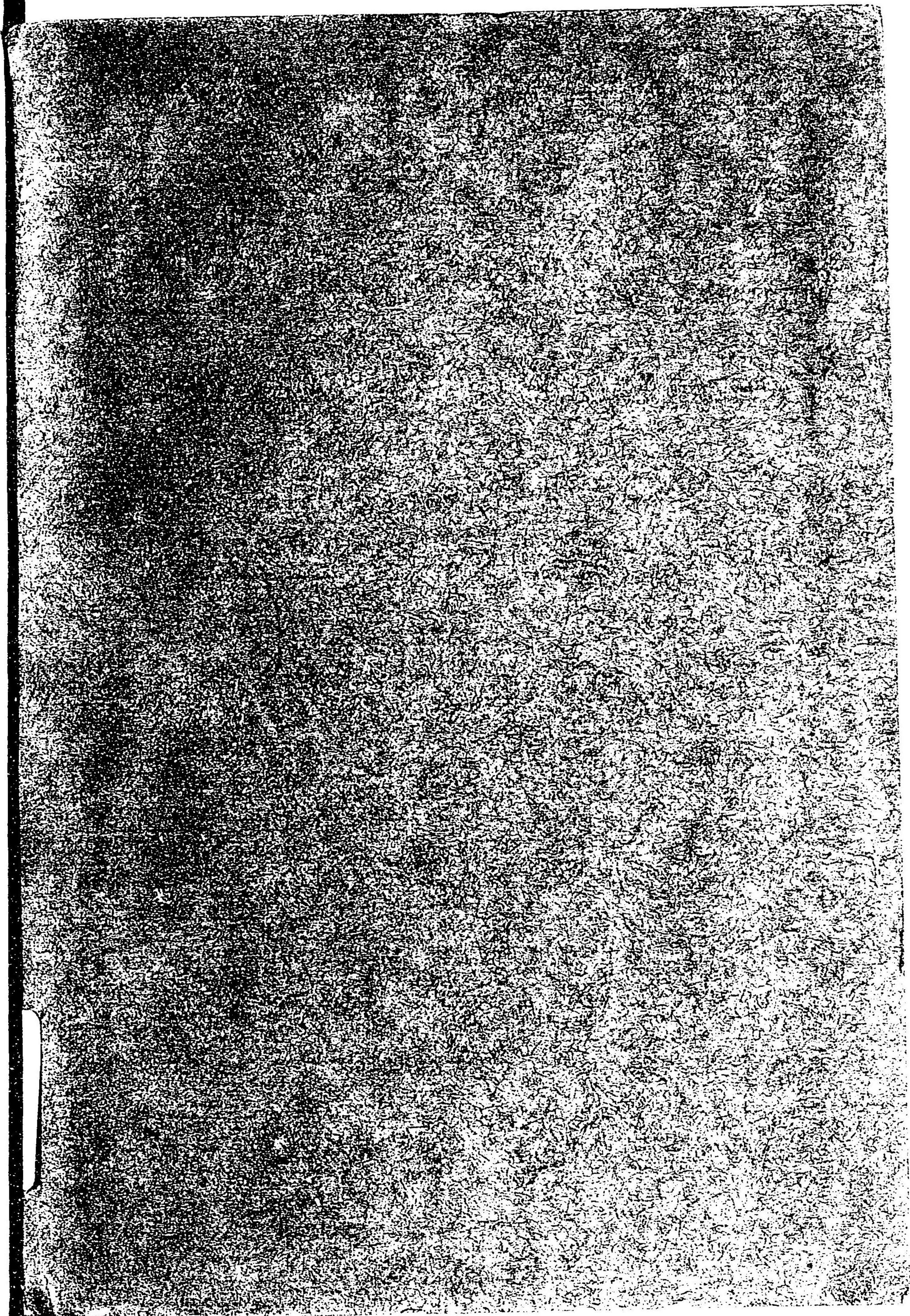
印刷者

和歌山市十三番丁一番地
由比 精三 郎

印刷所

和歌山市久保町一丁目二十九番地
爲森 商店印刷部

小學校
教員受驗案內并問題與附
定價 金參拾錢



049886-000-6

特30-950

小学校教員受験案内並問題

豊永 狷介/編

M42

BEM-0622

